

第 17 回一般社団法人宮城県理学療法士会定期総会資料

- ・ 令和 7 年度活動報告書及び決算報告書
- ・ 令和 7 年度監査報告書
- ・ 令和 8 年度活動計画案及び予算案

第 17 回一般社団法人宮城県理学療法士会定期総会式次第

1. 開会宣言
2. 会長挨拶
3. 定足数確認
4. 議長選出
5. 書記選出・任命
6. 議事録署名人選出・任命
7. 議事
 - 第 1 号議案：令和 7 年度活動報告の承認を得る件
 - 第 2 号議案：令和 7 年度決算報告の承認を得る件
 - 第 3 号議案：役員選任の件
(定数を超えた場合は選挙を実施する)
 - 第 4 号議案：令和 8 年度活動計画案の承認を得る件
 - 第 5 号議案：令和 8 年度予算案の承認を得る件
 - 第 6 号議案：定款変更の承認を得る件
 - その他
8. 議長・書記解任
9. 閉会宣言

日時：令和 8 年 5 月 31 日(日)10:00～12:00

場所：東北文化学園大学 階段教室 2

一般社団法人宮城県理学療法士会

〒981-3133

仙台市泉区泉中央 1-9-4 レジューイール泉 302 号

TEL. 022-344-6196

FAX. 022-344-6197

令和8年4月1日

一般社団法人宮城県理学療法士会
会員各位

一般社団法人宮城県理学療法士会
会 長 渡 邊 好 孝

第17回一般社団法人宮城県理学療法士会定期総開催通知

一般社団法人宮城県理学療法士会定款 25 条に基づき、下記の通り第 17 回定期総会を開催いたします。

会員各位におかれましては、ご出席・ご審議を賜りますようご通知いたします。

記

第 17 回一般社団法人宮城県理学療法士会定期総会

日時：令和 8 年 5 月 31 日（日） 10:00～12:00

場所：東北文化学園大学 階段教室 2

令和7年度事業報告

会 長 渡邊 好孝

一般社団法人宮城県理学療法士会（MPTA）の令和7年度事業は、「未来への投資2025」とし、2050年の社会を見据えた人財育成に注力しました。新しい時代を見据え、仕事と私生活の両立ができる豊かな未来づくりのための行動をしまいにしました。

理学療法士（PT）が目指す学術活動、職能活動、社会貢献活動などに対し、それぞれの部門活動と委員会活動によって会員の皆様にnudgeをしまいにしました。

今年度はMPTA成長戦略としての3本柱を立案しました。

①組織代表を国会議員にすること。ならびに国県市町村の政策と施策に関心を持ち、その行われている目的や内容の背景を知り、理学療法士業務の未来や自身の生活にどのように影響するかに関心を持たれるように伝えてまいりました。

結果として、PT協会・OT協会・ST協会等が推薦する組織代表（参議院比例代表）をMPTAも協働し応援活動を行いましたが残念な結果となりました。結果から課題も浮き彫りになりましたが、全国的に見れば宮城県は善戦したとも言える結果でもありました。議席を失ったことに落胆しておりましたが、令和8年2月の衆議院選挙において衆議院に当選され、政界に復帰されたことは、リハ専門職にとっては起死回生の喜びとなりました。

衆議院・参議院に理学療法士の議員が存在することの意義は、私たちが想像する以上に未来を明るく照らすに違いありません。

国会には「リハビリテーションを考える議員連盟」があり、平成7年11月時点で180名の国会議員が所属され、現在も増加しております。

少子超高齢社会、生産年齢人口減少などの人口動態から見える社会課題に対して、JPTAと連携し、行政施策の推進のために理学療法士の視点から「予算・税制改正に関する与党への要望についてのアンケート」をMPTAの政策検討委員会から提出しました。政策推進に欠かせない職能団体として国会・地方議員から認められるようになりました。

宮城県内でも本年度は国政選挙、地方選挙、市政選挙があり、候補者や関連する議員との交流が盛んになり、理学療法士への理解も深

まったと思います。行政および各種団体からMPTAに依頼される事業は社会局・事業局などの尽力で9割以上を受託することができました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

②自律分散型協調組織を育成継続。自律分散型協調組織構想は令和2年の「新時代構想会義」より始まり、令和3年度の組織改定によりブロック局14支部が誕生しました。

令和3年の「MPTA会員ミーティング」ではMPTAと支部のあり方を話し合いました。この組織は、宮城県全体の士会活動と協調しながらも、権限が委譲された状態で自律し、分散することで階層的なシガラミに支配や干渉されずに意思決定がなされ、各支部間が機能的に連動し協働する状態を目指してきました。

これまでの支部活動の結果、支部のエンパワメント（Empowerment）と個人のマタリング（Mattering）が高まり、チームとしての「One for All, All for one」の精神が培われるようになりました。それぞれの支部の特徴も見られるようになり、支部間連携での事業も定着し、MPTAを活性化しています。

本年度で全ての支部長も決まりました。

③E-nudge委員会はMPTA全体を活性化するnudge行動をする。としました。令和元年の構想を基に令和2年度から若手理学療法士活躍推進委員会として（後の通称E-nudge委員会）始動しました。現在も「未来を担う宮城在住の理学療法士たちが、仲間と共に、新たな一歩の可能性を考える。新しいことに挑戦し続け、理学療法の実践方法を探求する。そして、多様性の理解から未来を想像する」という思いから活動をしています。

E-nudge委員会のこれまでの活動によって、MPTA若者たちの元気に触れる機会が増えました。各種研修会、学術大会、座談会、スポーツ大会、交流会などから、変化を感じ取られている方もおられるかと思えます。

今後も①②③の活動にフラットな関係で参加していただけたら幸いです。

◇令和7年度活動報告：各局・部・委員会の事業報告をご参照ください。

第 1 号議案

令和 7 年度活動報告の承認を得る件

【提案理由】

定款第 24 条、第 45 条、第 46 条の定めるところにより、令和 7 年度の活動報告を
するとともに、承認を得たい。

令和7年度事業報告

(事務局)

●総務部

1 構成員

部長：坂下咲希恵 会計：四竈紗有里

部員：江戸一臣、高橋利幸

2 会議：1回開催

3 事業報告

(1) 理事会会議録記録、整理、保管事業

資料の準備・配布・書記～会議記録の作成(各理事会毎に実施)～

(2) 各種会議運営、調整事業

令和7年度定期総会の準備・運営

令和8年度理事会運営

(3) 各局・各部との連絡、調整事業

令和7年度新入才リエントリー研修会

(4) 各種慶弔事業

(5) 各種文書受領事業

他士会からの連絡文書、ニュース・学術誌など、協会からの連絡文書県・市町村関連の文書

その他当士会宛文書

(6) 各種文書発信事業

(7) 総会資料作成事業：第16回宮城県理学療法士会総会資料の作成・発行

(8) 事務器購入事業：名刺・封筒等の購入

(9) 事務器整備事業：購入物品の管理および修理

●会員情報管理部

1 構成員

部長：高橋利幸 会計・書記：高橋利幸

2 会議：0回開催

3 事業報告

(1) 会員管理事業(会員動向・管理、包括的会員管理システムの周知・対応)

(2) 会員名簿作成・管理事業(会員現状の把握・管理・情報提供)

●広報部

1 構成員

部長：佐々木友也 会計：佐々木友也 書記：佐々木友也

部員：なし

2 会議

開催なし

3 事業報告

(1) ニュース編集・発送事業

ア No.175：2025年7月

イ No.176：2026年1月

(2) FAXニュース編集・配信事業

ア 2024年4月 Vol 229-232 (4件)

5月 Vol 233-236 (4件)

6月 Vol 237-238 (2件)

7月 Vol 239-240 (2件)

8月 Vol 241-242 (2件)

9月 Vol 243-246 (4件)

10月 Vol 247 (1件)

11月 Vol 248-250 (3件)

12月 Vol 251 (1件)

2026年1月 Vol 252-253 (2件)

2月 Vol (0件)

合計25件(2/1現在)

(3) ホームページ管理事業

ア ホームページ適宜変更

(4) SNS管理事業

ア 宮城県理学療法士会Instagram 開設

(財務局)

●経理財務部

1 構成員

部長：新山 正都 会計：古山 智子 書記：古山 智子
部員：古山 智子

2 会議：2回開催

会計監査

- (1) 令和6年度期末監査 令和7年4月3日(木)
(2) 令和7年度中間監査 令和7年10月30日(木)

3 事業報告

(1) 会費に関する事業

- ア 公益社団法人日本理学療法士協会から県士会費、士会援助金、講習会受講費受領
イ 会費未納に関する会員への周知

(2) 会計に関する事業

- ア 経費の仮払、立替金精算
イ 事務員の給与支払、源泉徴収票の送付
ウ 各種請求の振込、源泉所得税の納付
エ 講師料に係る支払調書の作成・送付
オ 報酬、不動産使用に係る法定調書の作成・提出
カ 収支予算案、決算報告書の作成
キ 役員の交通費、渉外費等の執行・管理
ク 各部局における事業費、運営費管理、運用の円滑化

(事業局)

●公益事業管理部

1 構成員

部長：片山望
書記・資料保管：櫻井健太郎
財務：片山望
部員：石田美紀子 工藤渉

2 会議 部会の開催はなし

3 事業報告

(192回派遣 協力セラピスト22名)

ア 大衡村

- (ア) 介護予防・日常生活支援総合事業短期集中予防サービス事業 49回
(イ) 介護予防リハビリ事業 21回

イ 大郷町

- (ア) いきいき百歳体操支援 5回

ウ 大崎市

- (ア) 理学療法士から学ぶフレイル予防・軽体操 1回
(イ) 転棟・躓きをしないように骨、筋力を鍛える運動について 1回
(ウ) 骨は体の柱です～筋力アップして転ばない体を作ろう～ 1回
(エ) 腰が痛い人でも大丈夫！みんなでやろう元気体操 2回
(オ) 年代別身体活動量を知る 筋力トレーニング 1回
(カ) いきいき百歳体操推進支援事業 3回

エ 柴田町

- (ア) からだ測定会 12回

オ 加美町

- (ア) 介護予防元気応援講座 2回

カ 大河原町

- (ア) 健康教室 7回
(イ) スポカフェ 22回

キ 名取市

- (ア) 地域ケア個別会議 3回

ク 白石市

- (ア) 自立支援型地域ケア個別会議 10回

ケ 岩沼市

- (ア) 自立支援型地域ケア個別会議 11回

コ 仙台市

- (ア) 介護予防月間における市民センターとの共催イベント 4回
(イ) 介護予防月間におけるフレイル予防健康講座 1回
(ウ) 仙台市市民協働フレイルチェック事業 46回

サ 美里町

- (ア) 第10期介護保険事業計画策定委員会 1回

シ 宮城県薬剤師会

- (ア) 健康サポート薬局に係る研修 1回
- ス 宮城県言語聴覚士会
- (ア) 失語症支援者研修会 1回
- セ 宮城県障害者スポーツ協会
- (ア) みやぎ小学生ボッチャクラシック2025 実行委員会 3回
- (2) 宮城県リハビリテーション専門職協会関連事業
(67回派遣 協力セラピスト13人)
- ア 宮城県
- (ア) 宮城県地域共生社会推進会議 1回
- イ 仙台市
- (ア) 地域リハビリテーション活動支援事業
(通いの場支援 アセスメント訪問支援 講師派遣 事業所支援) 36回
- ウ 多賀城市
- (ア) 地域リハビリテーション活動支援事業
(通いの場支援 アセスメント訪問支援) 10回
- (イ) 地域ケア個別会議助言者 12回
- エ 松島町
- (ア) 地域リハビリテーション活動支援事業
(住民主体の通いの場支援 通所A型への派遣) 8回
- (3) その他
宮城県リハビリテーション支援センター、宮城県、仙台市との意見交換会、
事業打ち合わせ実施

●士会事業管理部

- 1 構成員 部長：石田美樹子
書記・資料保管：櫻井健太郎
財務：工藤渉
部員：大和佑果
- 2 会議 部会の開催はなし
- 3 事業報告
(1) 今年度は宮城県理学療法士会交流会は開催まで至らず

●法人事業管理部

- 1 構成員 部長・書記・資料保管：櫻井健太郎
財務：工藤渉
部員：藤野隆喜 坂下咲希恵 高橋利幸 新山正都
- 2 会議 部会の開催はなし
- 3 事業報告
(1) 総会に伴う書類作成並びに登記後の書類整理

(学術局)

●学術大会部

- 1 構成員
大会長：青木和人 部長：五十嵐直樹 副部長：栗村竜也 準備委員長：我妻 昂樹
会計：新山正都、増山 啓太
部員：伊勢 茜、大友 菜摘、大久 直昭、小野 央人、小野寺 和太、菅野 美菜子
金子 賢人、熊澤 和磨、鋸明 佳代子、西條 昌紀、佐藤 衛、嶋田 剛義
鈴木 彪流、鈴木 裕希子、鈴木 雄三、高橋 蓮、
徳永 光熙、水戸 奈津美、中川 達裕、山口 倫生、横山 蓮、渡部 康遼
当日協力スタッフ：
池田 美雲、片岡 洋樹、日下 明久、黒澤 啓志、庄司 剛仁、鈴木 陽喜
館岡 美渉、田中 慎也、千田 悠人、千田 涼人、千葉 柊太、藤原 瑞樹
星 杏奈、本田 仁、三上 愁斗、三田村 徳、村上 優衣
- 2 会議：4回開催 (Web開催)
- 3 事業報告
(1) 第29回宮城県理学療法学術大会
ア 日時：2026年2月8日 (日)
イ 会場：東北文化学園大学+web
ウ 参加登録者数：834人
エ 企画内容：
(ア) 教育講演1>ワークエンゲージとキャリア形成
【講師】上蘭 紗映 氏 (日本精神・心理領域理学療法学会)
【司会】青木 和人 氏 (大和町たかはし整形外科クリニック)
(イ) 教育講演2>“知”を深め、“暮らし”を考える

-個人因子・環境因子を踏まえた地域リハビリテーションの展開-

- 【講師】池田 登顕 氏 (山形大学)
【司会】佐藤 衛 氏 (東北大学大学院)
- (ウ) 教育講演3>腎疾患を抱える患者とどう向き合うか
~腎臓を循環器系として捉える臨床思考~
【講師】伊藤 大亮 氏 (仙台青葉学院短期大学)
【司会】釧明 佳代子 氏 (東北文化学園大学)
- (エ) 特別企画 日本神経理学療法学会・宮城地方会 共同企画
>The Real-time Analysis~会場参加型リアルタイム動作分析~
【シンポジスト】
荒木 草太 氏 (東北福祉大学)
増山 啓太 氏 (長町病院)
我妻 昂樹 氏 (東北文化学園大学)
【司会】村上 賢一 氏 (東北文化学園大学)
関口 雄介 氏 (東北大学研究推進・支援機構リサーチマネジメントセンター)
- (オ) 連携企画>「つなぐ」支援を考えるー医療と介護の接点からー
連携施設イムス明理会仙台総合病院 (回復期・訪問リハ)
【座長】五十嵐 直樹 氏 (仙台リハビリテーション病院)
- (カ) ハンズオンセミナー>“知”を深め、“からだ”を探る-エコーで
深める解剖学アップデート-
【講師】平山 和哉 氏 (東北文化学園大学)
【司会】栗村 竜也 氏 (みやぎ南部整形外科クリニック)
- (カ) ワークショップ>卒前教育の知を深め、想いを臨床へ届ける理学療法教育の現在地
-臨床実習での「伴走型指導」のコツとは-
【講師】鈴木 誠 氏 (東北文化学園大学)
【司会】安孫子 洋 氏 (総合南東北病院)
- (キ) 一般演題>演題数：53演題
a 研究発表・活動報告：20題
b 症例報告：7題
c フレッシュマンセッション：19題
d ビギナーズセッション：7題
- (2) 第28回宮城県理学療法学会・演題表彰
ア 最優秀賞
荒木 草太 (あらき そうた)：東北福祉大学
回復期脳卒中患者が歩行速度のMinimal Important Differenceを上回るための歩行戦略
イ 大会奨励賞 (研究部門)
佐々木 広人 (ささき ひろと)：仙台青葉学院短期大学
「成長期サッカー選手における主観的柔軟性と客観的柔軟性の関係」
ウ 大会奨励賞 (症例報告部門)
村上 海夕 (むらかみ みゆ)：みやぎ県南中核病院
「膿胸腔の閉鎖が困難であった胸壁開窓術後患者に対する
呼吸リハビリテーションの経験」
エ 新人賞 (症例報告部門)
(ア) 佐藤 優成 (さとう まさなり)：松田病院
「長期化したPusher現象に対して縦手すりを用いた起立練習が改善に寄与した
回復期脳卒中例-身体垂直性に着目した理学療法介入-」
(イ) 鈴木 敦大 (すずき あつひろ)：東北医科薬科大学病院
「姿勢制御能力に着目し、早期より理学療法介入を実施した視床出血の一症例」

●学術誌部

1 構成員

部長：平山和哉 副部長：荒木草太

部員：大友篤、國島春子、嶋田剛義、高橋一揮、前田里美

2 会議：1回開催

3 事業報告

(1) 理学療法の歩み第36巻1号 発刊報告

理学療法の歩み第37巻1号 掲載論文の募集、特別寄稿案、進捗確認

(2) 理学療法の歩み第37巻1号 発行 (2026年3月発行)

特別寄稿3編、講座1編、研究報告0編、症例報告1編、活動報告2編、事業所紹介1編
掲載

●専門領域研究部

1 構成員

部長：坂上尚穂

- 部員：我妻昂樹（神経班担当）、田中慎也・齋藤俊輔・遊佐拓弥（産業保健班）
- 2 会議回数：4回（対面1回、Web3回）
- 3 事業報告：
- (1) 研究助成事業
- ア 第2回（R6年度）宮城県理学療法士会研究助成制度：採択者への交付・研究進捗状況の確認・提出資料の管理等
- イ 第3回（R7年度）宮城県理学療法士会研究助成制度：規定等の整備・公募・広報・審査等
- (2) 研修・交流事業
- ア 第1回宮城産業保健理学療法活動報告・情報交換会（産業保健班）
- (ア) 日時：令和7年12月3日（水）
- (イ) 会場：JR仙台病院
- (ウ) 情報提供者
- ・宮城新吾（JR仙台病院）
 - ・鈴木博人（東北文化学園大学）
 - ・坂上尚穂（仙台青葉学院大学）
- (エ) 参加人数：24名
- イ 第2回宮城産業保健理学療法活動報告・情報交換会（産業保健班）
- (ア) 日時：令和8年2月17日（火）
- (イ) 会場：JR仙台病院
- (ウ) 情報提供者
- ・佐藤友則 氏（東北労災病院 治療就労両立支援センター）
 - ・田邊素子 氏（東北福祉大学）
 - ・田中慎也 氏（JR仙台病院）
- (エ) 参加人数：20名
- (3) 研修会事業
- ア 第30回宮城県理学療法学会×JSNPT宮城地方会コラボ企画（神経班）
- (ア) 日時：令和8年2月8日（日）
- (イ) 会場：東北文化学園大学
- (ウ) 登壇者
- ・荒木草太 氏（東北福祉大学）
 - ・増山啓太 氏（長町病院）
 - ・我妻昂樹 氏（東北文化学園大学）

<教育局>

●生涯学習部

◎登録理学療法士班

1. 事業報告

- (1) 観察による運動・動作分析-身体運動学に基づいた分析法の基礎-
- 日時：2025年6月21日
- 会場：東北文化学園大学（ハイブリッド開催予定）
- 講師：藤澤宏幸，村上賢一，我妻昂樹
- 参加人数：100名
- (2) パーキンソン病に対する最新の病態理解と治療、理学療法の理論と実際
- 日時：2025年7月4日
- 会場：Web開催
- 講師：馬場徹，及川宙
- 参加人数：185名（宮城県士会員68名、他県士会員115名、非会員2名）
- (3) 心理学を活かした動作指導法一実践・運動学習論アプローチ2026（事前指導）
- 日時：2025年7月13日
- 会場：web開催予定（zoom）
- 講師：鈴木博人，我妻昂樹
- 参加人数：43名
- (4) 基礎からわかる 浮腫の理学療法 ～ 浮腫の病態生理から対処法の例まで～
- 日時：2025年8月3日
- 会場：Web開催
- 講師：小野部純，劔明佳代子
- 参加人数：48名
- (5) 実技研修会 一胸部のフィジカルアセスメント・呼吸介助一
- 日時：2025年8月31日
- 会場：東北文化学園大学（対面開催）
- 講師：高橋一揮，合田尚弘
- 参加人数：20名
- (6) 回復期における脳卒中患者に対するリハビリテーション

～急性期から回復期，回復期から生活期にかけて～

- 日時：2025年9月24日
会場：Web開催（zoom）
講師：阿部千恵，木村裕，工藤慎也，佐々木友也
参加人数：100名
- (7) 呼吸リハビリテーション研修会
日時：2025年10月18～19日
会場：Wed開催
講師：小川浩正，黒澤一，紺野大輔，高橋識至，石川郎，中田隆文，高橋一揮，澤邊泰
合田尚弘
参加人数：54名
- (8) 小児リハビリテーションにおけるADL評価と実践
日時：2025年10月24日
会場：Web開催
講師：高橋恵里
参加人数：126名
- (9) 身体運動学から捉えるバランス制御と理学療法アプローチ
日時：2025年10月25日
会場：東北文化学園大学（ハイブリッド開催予定）
講師：藤澤宏幸，鈴木誠
参加人数：93名
- (10) エコー&効果的な関節可動域運動 実技セミナー（上肢下肢編）
日時：2025年11月1～2日
会場：東北保健医療専門学校
講師：小宮山与一，栗村竜也，平山和哉，黒木薫
参加人数：44名
- (11) いたみの専門家から学ぶ慢性疼痛への理解および臨床実践
日時：2025年11月30日
会場：対面開催
講師：伊藤裕之，二瓶健司，石村慶太
参加人数：27名
- (12) 基礎から学ぶ脳卒中患者の病態と動作分析
一神経学的視点と身体運動学的視点から動作を視る一
日時：2025年12月6日
会場：東北文化学園大学（ハイブリッド開催）
講師：村上賢一，我妻昂樹
参加人数：61名
- (13) 身体活動に伴う呼吸循環応答 - 運動負荷試験の見方が変わる -
日時：2025年12月21日
会場：Web開催
講師：高橋一輝，小野部純，劔明佳代子
参加人数：81名
- (14) 心理学を活かした動作指導法一実践・運動学習論アプローチ2024
（事後指導・練習計画編）一
日時：2026年1月12日
会場：ハイブリット開催
講師：鈴木博人，我妻昂樹
参加人数：47名

◎前期後期研修班

1. 事業報告

- (1) 新入オリエンテーション
日時：2025年8月31日（日）
テーマ A-1 職業人と倫理
講師 渡邊好孝氏（宮城県理学療法士会 会長）
会場：東北文化学園大学
参加人数：35名（現地27名、オンライン8名）

◎認定専門班

1. 事業報告

- (1) 認定理学療法士（運動器）臨床認定カリキュラム
ア 日時：2025年9月1日～2026年2月28日（オンデマンド配信）
イ テーマ：臨床認定カリキュラムシラバスに沿った20テーマ
ウ 講師：千葉渉，平山和哉，鈴木博人，阿部玄治，鈴木誠，栗村竜也，

成田貴紀, 青木和人, 黒木薫, 矢口春木, 吉田高幸, 金子亮太郎,
小宮山与一, 鈴木佑介, 畠中聡

- エ 参加人数：10名
- (2) 認定理学療法士（脳卒中）臨床認定カリキュラム
ア 日時：2025年9月1日～2026年2月28日（オンデマンド配信）
イ テーマ：臨床認定カリキュラムシラバスに沿った20テーマ
ウ 講師：村上賢一, 片岡洋樹, 関崇志, 神将文, 佐々木友也, 阿部千恵, 安孫子洋,
芝崎淳, 三田村徳, 我妻昂樹
- エ 参加人数：13名
- (3) 認定理学療法士（呼吸）臨床認定カリキュラム
ア 日時：2025年9月1日～2026年2月28日（オンデマンド配信）
イ テーマ：臨床認定カリキュラムシラバスに沿った20テーマ
ウ 講師：高橋一揮, 澤邊泰, 藤村伸, 前田里美, 尾形知美, 藤原裕太, 廣瀬景子,
片山望, 鈴木翔
- エ 参加人数：6名

●教育部

1. 事業報告

- (1) 動作再建に直結するハンドリング技術—基礎から症例を対象とした
身体操作を直に学ぶ！—
ア 日時：2025年7月12日（土）
イ 会場：東北文化学園大学（対面のみ）
ウ 講師：鈴木誠、村上賢一
エ 参加人数：11名（県土会員9名、県外会員2名）
- (2) 基礎からわかる 運動生理学入門
ア 日時：2025年9月3日（水）・9月10日（水）・9月17日（水）・9月24日（水）
イ 会場：web開催
ウ 講師：釧明佳代子、高橋一揮、小野部純、鈴木誠
エ 参加人数：663名（県土会員76名、県外会員586名、非会員1名）
- (3) 理学療法介入の進め方入門 —臨床の考え方を広げる第一歩—
ア 日時：2025年9月6日（土）
イ 会場：東北文化学園大学+web（ハイブリット）
ウ 講師：藤澤宏幸、吉田高幸、我妻昂樹、嶋田剛義
エ 参加人数：27名（県土会員16名、県外会員17名）
- (4) 明日の臨床に直結！吸引と呼吸理学療法の基礎
ア 日時：2025年11月29日（土）
イ 会場：東北文化学園大学（対面のみ）
ウ 講師：高橋一揮、合田尚弘
エ 参加人数：3名（県土会員3名）

（社会局）

●予防と健康づくり部

1 構成員

部長：日野和也 会計：菅野良 書記：丸屋健
部員：阿部旭、千葉瑛夫、淀川洋二、佐藤大樹、熊谷裕二、岩淵隆俊、中嶋峻、石田航
竹花あさひ、松坂大毅、山田祥康、井上莉花、佐藤衛、後藤萌音、菅野美菜子

2 会議：3回開催

3 事業報告

- (1) 大郷町「いきいき百歳体操」導入支援
活動場所：町内、約10ヶ所程度の地域住民による自主グループへの派遣
活動内容及び活動時間：立ち上げ支援として3回派遣。1回あたりの活動時間は2時間。
1回目は主に体力測定及び「いきいき百歳体操」の指導。
2回目、3回目は主として体操指導、準備や会場の環境設定に対する助言などを実施。
その後は大郷町の要請に応じて3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月は体力測定及び体操実施状況を確認する。
一部、部員だけでの対応が難しく、仙台リハビリテーション病院、
黒川病院の理学療法士に
協力を得た。
- (2) 仙台市介護予防月間 共催事業
ア 市民センター共催イベント
（ア）山田市民センター
日時：令和7年11月13日 10：00～12：00
内容：介護予防・フレイル対策に関する講話と運動指導

- (イ) 吉成市民センター
日時：令和7年11月14日 10:00～12:00
内容：介護予防・フレイル対策に関する講話と運動指導
- (ウ) 榴ヶ岡市民センター
日時：令和7年11月20日 10:00～12:00
内容：介護予防・フレイル対策に関する講話と運動指導
- (エ) 幸町市民センター
日時：令和7年11月20日 10:00～12:00
内容：介護予防・フレイル対策に関する講話と運動指導
- イ 介護予防月間 オープニングイベント 元気力アップフェスティバル
日時：令和7年11月30日（日）10:00～15:00
会場：イズミティ21
内容：体力測定及びザリッツを用いた測定、フレイル予防講座

●スポーツ部

1 構成員

部長：千葉 渉 会計：茂呂行哲 書記：茂呂行哲
部員：伊勢田大地、遠藤慎也、川崎惣一郎、黒木薫、佐藤詩野、新宮有梨沙、高松克成、西志玲奈、平塚光成、渡辺黎晏、庄司剛仁、高野陽太、増田勇馬、多田丈一郎、泉祐芽、菅野美菜子、大須賀愛依、三上愁斗

2 会議：0回開催（事業開催時に随時オンライン、SNS等で連絡調整）

3 事業報告

- (1) 第35回東北パラ水泳選手権大会 サポート事業
日時：令和7年5月31日、6月1日
会場：グランディ21
内容：クラス分け委員として参加選手の機能評価を行う他ためのスタッフ派遣
- (2) 国際車いすテニス大会 SENDAI OPEN 2025 サポート事業
日時：令和7年6月19日～6月22日
会場：シェルコムせんだい
内容：選手に対して、試合前後のコンディショニングおよびテーピングの実施
- (3) 第1回宮城県U15バスケットボールクラブカップ サポート事業
日時：令和7年8月15日～17日
会場：ホワイトキューブ（白石市文化体育活動センター）
内容：傷害発生時の初期対応、選手のコンディショニングおよびテーピング等
- (4) 2025宮城県U15バスケットボール選手権大会 サポート事業
日時：令和7年11月15日、16日
会場：ホワイトキューブ（白石市文化体育活動センター）
内容：傷害発生時の初期対応、選手のコンディショニングおよびテーピング等

●医療保険部

1 構成員

部長：金子亮太郎 会計：鳩岡洋太 書記：細川亜弓
部員：佐々木翔、中塩泰成、庄司剛仁、阿部睦巳

2 会議：3回開催

3 事業報告

- (1) 情報収集事業：日本理学療法士協会診療報酬担当のメーリングリストからの情報収集
- (2) 情報提供事業：会員へ診療報酬に関わる情報提供
- (3) 研修会開催事業：リハビリテーション栄養口腔連携体制加算研修会・診療報酬意見交換会（10/22）
令和8年度診療報酬改定研修会（3/14）
- (4) 研修会参加事業：日本理学療法士連盟主催 令和8年度診療報酬改定研修会（4名参加）

●介護保険部

1 構成員

部長：渡辺和良 副部長：阿部功 会計：高橋善明 書記：石井麻美 部員：佐藤孝平

2 会議：1回開催

3 事業報告

- (1) 仙台市ひとにやさしいまちづくり推進協議会幹事会・総会
日 時：令和7年5月16日
会 場：EARTH BLUE仙台勾当台
参 加 者：阿部

（ブロック局）

●仙南支部

1 構成員

部長：安孫子洋

部員：なし

2 会議

開催なし

3 事業報告

(1) 第1回岩沼支部・仙南支部合同講習会

ア 開催日：令和8年3月27日

イ 開催場所：オンライン

ウ テーマ：Mini-BESTestを用いた動的バランス評価の臨床応用

エ 講師：荒木草太先生（東北福祉大学）

オ 参加人数：66名

●岩沼支部

1 構成員

部長：安孫子洋

部員：芝崎淳、黒澤啓志

2 会議

1回

3 事業報告

(1) 第1回岩沼支部・仙南支部合同講習会

ア 開催日：令和8年3月27日

イ 開催場所：オンライン

ウ テーマ：Mini-BESTestを用いた動的バランス評価の臨床応用

エ 講師：荒木草太先生（東北福祉大学）

オ 参加人数：66名

●太白支部

1 構成員

部長：大鹿糠徹 副部長：板垣莉央 会計：渡邊柚希

部員：駒木絢可、大橋信義、神将文、西城智絵、大木宗人、斎藤春美、南家浩介、高橋弥熙、
多田駿里、高橋英豊、太田裕也

2 会議

2回開催

3 事業報告

(1) 第16回 脳卒中者の歩行再建を考える研修会

ア 開催日：令和7年11月29日

イ 開催場所：zoomミーティング

ウ 講師：高橋忠志先生

エ 参加人数：65名

●青葉支部

1 構成員

部長：井澤真一 副部長：田中慎也 会計：戸澤向日葵

部員：大西智美、柴田賀尉、三上莉奈

2 会議

講習会に関する会議を1回開催した（令和8年1月25日）

3 事業報告

(1) 第4回仙台地区ブロック局合同研修会

ア 開催日：令和8年1月25日

イ 開催場所：東北保健医療専門学校

ウ 講師：佐藤房郎先生、荒木草太先生、板垣莉央先生

エ 参加人数：115名

●若林支部

1 構成員

部長：片岡洋樹 副部長：菅原智裕 会計：小野央人 書記・資料管理：梶原 一将

部員：佐藤広人、浅香智紀

2 会議

1回開催

3 事業報告

ア テーマ：認定スクールトレーナー活動について～実際の事例を通して～

イ 日時：令和8年2月28日（土） 10:00 ～ 12:00
ウ 講師：庄司 剛仁
エ 開催場所：仙台医健・スポーツ専門学校
オ 参加人数：17名

●宮城野支部

- 1 構成員
部長：工藤渉 会計：木村友哉 書記：木村友哉
部員：植木泰樹
- 2 会議
開催なし
- 3 事業報告
(1) 第4回仙台市ブロック局合同研修会
ア 開催日：令和8年1月25日
イ 開催場所：東北保健医療専門学校（zoom利用）
(2) 宮城野支部のみでの事業開催なし

●泉支部

- 1 構成員
部長：高村真司
部員：渡辺似望、熊谷拓未
- 2 会議
講習会に関する会議を1回開催（令和7年12月16日）
- 3 事業報告
(1) 第2回泉支部研修会
ア 開催日：令和7年12月20日（土）
イ 開催場所：仙台リハビリテーション専門学校
ウ 講師：菅野美香先生
エ 参加人数：28名
(2) 第4回仙台地区ブロック局合同講習会
ア 開催日：令和8年1月25日
イ 開催場所：東北保健医療専門学校
ウ 講師：佐藤房郎先生、荒木草太先生、板垣莉央先生
エ 参加人数：115名

●塩釜支部

- 1 構成員
部長：鈴木耀 書記：齋瑞穂
部員：齋瑞穂、柿崎亮太、須田佑斗
- 2 会議
11回開催
- 3 事業報告
(1) 令和7年度第1回研修会
ア テーマ：塩釜支部圏大座談会
イ 開催日：令和7年6月28日
ウ 開催場所：坂総合クリニック
エ 参加人数：現地：20名 オンライン：不明
(2) 令和7年度第2回研修会
ア テーマ：「足部の身体運動学～子どもの足の発達からバランス制御の
視点まで～Ver. 2」
イ 開催日：令和7年8月23日
ウ 開催場所：Zoomオンライン
エ 講師：鈴木誠先生（東北文化学園大学）
オ 参加人数：現地：24名 オンライン：96名
(3) 令和7年度第3回研修会
ア テーマ：「ハンドリングの極意～明日からできる基本動作編～」
イ 開催日：令和7年10月25日
ウ 開催場所：坂総合クリニック
エ 講師：村上賢一先生（東北文化学園大学）
オ 参加人数：現地：13名
(4) 令和7年度第4回研修会
ア テーマ：内部障害系症例検討会
イ 開催日：令和7年12月6日
ウ 開催場所：坂総合クリニック

- エ 参加人数：現地15名 オンライン：32名
- (5) 交流会
- ア 開催日：令和7年12月6日
- イ 参加人数：9名
- (6) 利府町老人連合会への講師派遣

●黒川支部

- 1 構成員
 - 部長：伊藤光、副部長：熊澤和磨
 - 部員：五十嵐直樹、日下聡太
- 2 会議
 - 会議1回
- 3 事業報告
 - 支部組織の構築
 - 次年度事業の計画

●大崎支部

- 1 構成員
 - 部長：小野寺和大 副部長：門脇敬 会計：中屋賢 書記：佐藤伸貴
 - 部員：澤邊泰、千葉優子、熊谷太一
- 2 会議
 - 2回開催
- 3 事業報告
 - (1) 2025年度第1回大崎支部研修会座談会
 - ア テーマ：「症例発表への準備、発表者育成について」
 - イ 日時：2025年6月28日（土）
 - ウ 講師：増山啓太先生（長町病院）
中屋賢先生（大崎市民病院）
 - エ 開催場所：大崎市図書館
 - オ 参加人数：23人
 - (2) 2025年度第2回大崎支部研修会座談会
 - ア テーマ：「大腿骨近位部骨折の理学療法をともに考える
-病期別に見た評価・治療のポイント-」
 - イ 日時：2025年7月27日（日）
 - ウ 講師：海津陽一先生（日高リハビリテーション病院）
 - エ 開催場所：ハイブリッド開催（大崎市民病院 9階会議室、zoom）
 - オ 参加人数：202人
 - (3) 2025年度第3回大崎支部研修会座談会
 - ア テーマ：「回復期の呼吸理学療法」
 - イ 日時：2026年2月26日（木）
 - ウ 講師：澤邊泰先生（大崎市民病院 鹿島台分院）
 - エ 開催場所：オンライン開

●石巻支部

- 1 構成員
 - 部長：庄司剛仁 副部長：田中貴裕、宍戸隆一郎 会計：庄司剛仁 書記：庄司剛仁
 - 部員：阿部雄介、岩淵裕也、遠藤崇大、及川竜太、金井祐斗、今野凜香、鈴木有利加
- 2 会議
 - 2回開催
- 3 事業報告
 - (1) 第1回石巻支部研修会
 - ア テーマ：「いまさら聞けない歩行のキホン」
 - イ 開催日：2025年7月23日
 - ウ 開催場所：石巻健育会病院
 - エ 講師：鈴木博人先生（東北文化学園大学）
 - オ 参加人数：47人
 - (2) 第2回石巻支部研修会
 - ア テーマ：「PT×POの現場連携」
 - イ 開催日：2025年10月17日
 - ウ 開催場所：介護老人保健施設 恵仁ホーム
 - エ 講師：大鹿糠徹先生（広南病院）、武山政志先生（株式会社アライズ）
 - オ 参加人数：63人
 - (3) 第3回石巻支部研修会
 - ア テーマ：「なんとなくから卒業若手セラピストのための基本動作の習得と実践」

- イ 開催日 : 2025年12月5日
- ウ 開催場所 : 石巻健育会病院
- エ 講師 : 横山 翼先生 (ひまわり訪問看護ステーション)
- オ 参加人数 : 32人
- (4) 第4回石巻支部研修会
 - ア テーマ : 「大腿骨頸部骨折・転子部骨折における理学療法」
 - イ 開催日 : 2026年3月5日
 - ウ 開催場所 : 石巻ロイヤル病院
 - エ 講師 : 菅田 晃平先生 (まつもと整形外科リハビリテーションクリニック)
 - オ 参加人数 : 40人
- (5) 第9回いしのまき復興マラソン コンディショニングブース
 - ア 開催日 : 2026年3月15日
 - イ 開催場所 : セイホクパーク石巻 (石巻総合運動公園)
 - ウ 内容 : 参加されるランナーへの怪我の予防や疲労回復を目的として
ストレッチ、マッサージを行う
 - エ ボランティア数 : 26人
- オ 対応利用者 : 104人

●栗原支部

- 1 構成員
 - 支部会長 : 前川芳輝 (栗原中央病院)
- 2 会議回数 : 1回 (11/28)
- 3 事業報告 : 事業実施なし

●登米支部

- 1 構成員 部長 : 小寺光彦 副部長 : 伊藤隆弘 会計・書記 : 千葉雄太
- 2 会議
- 3 事業報告
 - 第37回カップハーフマラソン コンディショニングブースの設営
 - ア 日時 : 令和7年12月7日 (日) 8:00 ~ 12:30
 - イ 会場 : 登米総合体育館 (エスビー食品とよま蔵ジウム)
 - ウ 内容 : 参加されるランナーへ怪我の予防や疲労回復を目的として
ストレッチ、マッサージを行う
啓蒙活動としてリハビリ関連用具、ポスターの展示も行う
 - エ 活動スタッフ : 会員8名
その他3名 (理学療法士2名、作業療法士1名)
学生4名 (仙台医健・スポーツ専門学校)
- オ 対応 : 81名

●気仙沼支部

- 1 構成員
 - 部長 : 齋藤 寛太 会計 : 村上 裕亮
 - 部員 : 梶原 修弥、佐藤 貴彦、小野寺 裕志、佐藤 峻、
小野寺 千鶴、菅原 理、吉田 恵美、横山 大地、
畠山 七海、及川 まさみ、吉田 城
- 2 会議
- 2回開催
- 3 事業報告
 - (1) 第1回支部研修会
 - ア テーマ : 「傾いた垂直性-Pusher現象をめぐって」
 - イ 講師 : 網本 和
 - ウ 日時 : 2025年6月20日 (金) 18:30 ~ 20:00
 - エ 参加人数 : 24名
 - (2) 新入会員歓迎会
 - ア テーマ : 宮城県理学療法士会気仙沼支部新入歓迎会
 - イ 日時 : 2025年6月20日 (金)
 - ウ 参加人数 : 29名
 - (3) 第2回支部研修会
 - ア テーマ : 肺炎および誤嚥性肺炎の予防的観点からのアプローチ
 - イ 講師 : 星 孝
 - ウ 日時 : 2025年8月29日 (金) 18:30 ~ 20:00
 - エ 参加人数 : 25名
 - (4) 3支部合同交流球技大会

- ア テーマ：3支部合同交流球技大会
 イ 日時：2025年10月4日（土）
 ウ 参加人数：50名
- (5) 第3回支部研修会
 ア テーマ：「生活とは」リハビリテーションにおける考え方について
 イ 講師：川口 淳一
 ウ 日時：2025年10月17日（金） 18:30～20:00
 エ 参加人数：38名
- (6) 第4回支部研修会
 ア テーマ：発達性協調運動症（DCD）とは
 イ 講師：高橋 恵理
 ウ 日時：2025年11月7日（金） 18:30～20:00
 エ 参加人数：35名
- (7) 第5回支部研修会
 ア テーマ：身体操作の基礎・
 イ 講師：鈴木 誠
 ウ 日時：2026年1月16日（金） 18:30～20:00
 エ 参加人数：16名
- (8) 第6回支部研修会
 ア テーマ：今いる場所とその先の未来へー新時代を生きる理学療法ー
 イ 講師：齊藤 秀之
 ウ 日時：2026年1月20日（火） 18:30～20:00
 エ 参加人数：60名
- (9) 第7回支部研修会
 ア テーマ：身体操作の基礎・
 イ 講師：鈴木 誠
 ウ 日時：2026年2月20日（金） 18:30～20:00
 エ 参加人数：19名

（各種委員会）

○災害支援対策委員会

1 構成員

委員長：坪田朋子 副委員長：遠藤文晴、小野寺千鶴 会計：石田航
 書記・資料管理：高村真司、菊地史恵

2 会議

1回開催

3 事業報告

(1) 災害リハビリテーション基礎研修

ア 日時：R7年6月14日（土）13:30～17:30
 イ 場所：東北文化学園大学
 ウ 講師：佐藤亮氏（熊本JRAT事務局次長）
 エ 内容：災害リハビリテーションの実際と基礎知識を学ぶ
 今後、養成校における授業や県内各支部への出前講座として水平展開予定
 オ 参加者：35名

(2) REHUG研修

ア 日時：R8年3月7日（土）13:30～17:40 ファシリテーター養成研修
 R8年3月8日（日）9:00～13:10 REHUG研修
 イ 場所：東北文化学園大学
 ウ 講師：坪田朋子（合同会社リハビタ）
 小野寺千鶴（南三陸病院）
 エ 内容：災害時の本部運営や避難所における事例対応を学ぶ
 発災時に実働する可能性が高い参加者が多く、活動のイメージができた
 と好評であった。参加者同士の交流も非常に活発であった。
 オ 参加者：ファシリテーター5名
 参加者16名

(3) 宮城JRAT研修会事業

ア 日時：R8年4月25日（土）13:30～15:00（開催予定）
 イ 場所：東北保健医療専門学校
 ウ 講師：香山明美氏（東北文化学園大学教授）
 エ 内容：中長期的な支援活動においてリハ職が果たすべき役割とは（仮）

○表彰委員会

1 構成員

委員長：坂下咲希恵

2 会議

1回開催

3 事業報告

- (1) 協会賞者の検討/推薦
- (2) 協会名誉会員推薦の検討

○理学療法の日運営委員会

1 構成員 委員長：櫻井健太郎

資料保管・財務：櫻井健太郎

委員：石田美樹子、片山望、工藤渉、藤野隆喜

2 事業報告

- (1) 他県、他団体の活動内容なども情報収集し開催様式なども含めて検討したが事業開催まで至らず

○組織調査委員会

1 構成員

委員長：榊 望

2 会議：電磁的方法により実施

3 事業報告

- (1) 理学療法士待遇実態調査
- (2) 実態調査理事会報告

○3職種リハ振興委員会

1 構成員

委員長：阿部功 委員：菅原まき子、佐藤衛

2 会議：2回開催（作業療法士会・言語聴覚士会代表者と共に／オンライン開催）

随時、LINE等で打ち合わせを実施

3 事業報告

- (1) 訪問リハビリテーション地域リーダー会議

ア 日 時：令和7年10月18日（土）

イ 会 場：オンライン開催

ウ 内 容：講演「2040年を見据えた訪問リハと在宅歯科の新しい連携のかたち」、地域リーダーへ今後の指針、訪問リハ実務者研修会の取組状況と課題共有GW

エ 参加者：阿部

- (2) 宮城県地域リハビリテーション研修会（訪問リハビリテーション実務者研修会）

ア 日 時：令和8年1月24日（土）

イ 会 場：仙台医健・スポーツ専門学校

ウ 内 容：宮城県地域リハビリテーション研修会への運営協力

エ 参加者：阿部、菅原

エ 参加者数：18名（内、理学療法士会員9名）

○先進リハ機器活用推進委員会

1 構成員

委員長・会計・書記：安孫子洋

部員：なし

2 会議

開催なし

3 事業報告

開催なし

○E-nudge委員会

1 構成員

委員長：佐藤衛 副委員長：増山啓太、我妻昂樹

会計：増山啓太、齋藤朱里

委員：菅野美菜子、今野元貴、庄司剛仁、鈴木彪流、瀬戸厚史、近藤貴大、千田涼人、三上愁斗、大須賀愛依、長瀬蔵人、工藤奈緒、田中菜那、嶋田剛義、計38名

2 会議回数

Web会議12回

3 事業報告

- (1) 交流会（1回）

ア 2025年4月20日（日）

宮城県理学療法士会新人歓迎会（参加人数：25名）
新人理学療法士に対し、協会への入会のメリットや
士会での活動状況について紹介した。

- (2) 企画 (3回)
- ア 2025年7月30日(火) 夏休み限定！学生企画2025
新人PTが学生時代にやってよかったと感じていることや現在頑張っていること、国試対策について議論した。(参加人数：15名)
 - イ 2025年8月31日(日) 新人オリエンテーション内の企画 (E-nudge委員会トークイベント)
新人理学療法士が抱える悩みを共有、先輩PTから経験をシェアした。(参加人数：26名)
 - ウ 2026年1月14日(木) 「県学会プレ企画 ちょっと症例報告してくるわ」
フレッシュマンセッションの発表者や今後発表を控える方向けに発表の心構えや振り返り方について共有した。(参加人数：40名)

○政策検討委員会

1 構成員

委員長：齋藤寛太

2 会議：

開催無し

3 事業報告

- (1) 政策検討会議
- (2) 宮城県選出の衆議院議員、参議院議員との懇談会
- (3) 全国リハ専門職地方議員の会
- (4) 組織代表候補に関する活動 (SNS活動、メインサポーター登録、集会の協力)
- (5) 田中まさし全国後援会幹事長会議への協力
- (6) 日本理学療法士協会長と養成校での主権者教育実施
- (7) 東北理学療法学会大会 田中まさし氏の広報サポート
- (8) 日本理学療法士連盟 東北ブロック会議への参加 (福島県)
- (9) かまやちさとし候補の応援活動
- (10) 生活衛生・理美容事務局ご挨拶

○臨床実習指導者講習会運営委員会

1 構成員

委員長：鈴木誠 委員：県内各理学療法士養成校教員代表者

2 会議回数

1回開催(2026年度調整会議)

日時：2026年2月16日

開催方法：Web

参加者：12名

3 事業報告

- (1) 第1386回臨床実習指導者講習会
 - ア 日時：2025年6月14日(土)、15日(日)
 - イ 開催主体：一般社団法人宮城県理学療法士会
 - ウ 開催方法：Web
 - エ 修了者：21名(県内21名)
- (2) 第1411回臨床実習指導者講習会
 - ア 日時：2025年8月23日(土)、24日(日)
 - イ 開催主体：仙台リハビリテーション専門学校
 - ウ 開催方法：Web
 - エ 修了者：57名(県内35名、県外22名)
- (3) 第1462回臨床実習指導者講習会
 - ア 日時：2025年10月25日(土)、26日(日)
 - イ 開催主体：仙台医健・スポーツ専門学校
 - ウ 開催方法：Web
 - エ 修了者：51名(県内14名、県外37名)
- (4) 第1469回臨床実習指導者講習会
 - ア 日時：2025年11月15日(土)、16日(日)
 - イ 開催主体：専門学校仙台総合医療大学校
 - ウ 開催方法：Web
 - エ 修了者：32名(県内17名、県外15名)
- (5) 第1507回臨床実習指導者講習会
 - ア 日時：2026年2月14日(土)、15日(日)
 - イ 開催主体：東北文化学園大学
 - ウ 開催方法：Web
 - エ 修了者：32名(県内18名、県外14名)

○国際交流・支援等委員会

1 構成員

委員長：三田村徳、副委員長：古川雅一
委員：菊池真美子、庄司剛仁、菅原美波、成田徹平

2 会議：4回開催

3 事業報告：

(1) 日時：2025年9月7日(日)

ア テーマ：「World Physiotherapy Congress 2025,
Korea-Taiwan-Japan Physical Therapy Network 報告会」
E-nudge×国際交流・支援等委員会コラボ企画

イ 参加人数：30名

ウ 会場：ハイブリッド、現地場所：仙都会館会議室

(2) 日時：2025年10月7日(火曜) 20:00~21:00 (エクアドル時間:朝6:00~7:00)

ア テーマ：JICA 海外協力隊オンライン出前講座・エクアドル編報告会

イ 参加人数：54名

ウ 開催形式：オンライン (Zoom)

○仕事と家庭・私生活の両立を支える委員会

1 構成員

委員長：坂下咲希恵 会計・書記：四竈紗有里
委員：吉田望、阿部綾香

2 会議

1回開催

3 事業報告

セラピストのためのリハビリテーションマネジメント研修会の開催

○MPTA新時代構想会議

1 構成員

会長、各副会長（加えて、各局長が適宜参加）

2 会議回数

1回開催

3 事業報告

定款・定款規定細則・各種規定の見直し、作成

○組織検討委員会

委員長：榊 望

2 会議

2回開催

3 事業報告

(1)各種規程整備に向け素案を作成し、新時代構想会議・理事会へ提言した

○第45回東北理学療法学会準備委員会

1 検討内容

三役（大会長、副会長、準備委員長）の選定について検討（継続検討中）

○60周年・法人20周年記念誌編集委員会

1 構成員

委員長：櫻井健太郎
資料保管・財務：櫻井健太郎
委員：藤野隆喜、渡邊好孝

2 事業報告

(1) 50周年記念事業以降、県士会で開催された各部局の事業のまとめ
(2) 沿革作成に関する情報収集作業などを実施

○循環器病対策推進委員会

1 構成員

委員長・会計・書記：高橋一揮
副委員長：竹内雅史

2 会議：1回開催

3 事業報告

(1) 宮城県循環器病対策推進協議会

ア 日時：令和7年12月18日(木)

○選挙管理委員会

1 構成員

委員長：舟山伸利

2 会議
0回開催

第 2 号議案

令和 7 年度決算報告の承認を得る件

【提案理由】

定款第 24 条、第 45 条、第 46 条の定めるところにより、令和 7 年度の決算報告を
するとともに、承認を得たい。

令和7年度 一般社団法人 宮城県理学療法士会 期末決算報告書
令和7年4月1日～令和8年3月31日

【一般会計】
<収入の部> (単位:円)

大科目	中科目	令和7年度予算	令和7年度期末決算	差額	備考
会費収入	会費収入	15,955,000	15,698,800	△ 256,200	
	会費	13,950,000	13,698,000	△ 252,000	2024年度 1名、2025年度 377名、2026年度 1,144名 士会援助金1,500,000+100@1,488名、生涯学習制度運営に関する費用200,000+2,000@76名
	士会援助金	2,005,000	2,000,800	△ 4,200	
事業収入		7,993,000	6,147,916	△ 1,845,084	
事業局		1,240,000	1,367,298	127,298	
	公益事業管理部	1,100,000	1,345,298	245,298	市町村、他団体委託事業
	士会事業管理部	140,000	22,000	△ 118,000	交流会参加費 43名
学術局		1,120,000	1,234,624	114,624	
	学術大会部	1,000,000	1,234,624	234,624	大会参加費 834名、参加者お弁当代
	専門領域研究部	120,000	0	△ 120,000	
教育局		5,255,000	2,846,804	△ 2,408,196	
	生涯学習部	5,195,000	2,554,488	△ 2,640,512	
	前期後期研修班	0	0	0	
	登録理学療法士班	4,495,000	1,974,488	△ 2,520,512	講習会受講費 14テーマ 678名
	認定専門理学療法士班	700,000	580,000	△ 120,000	臨床認定カリキュラム受講費 29名
	教育部	60,000	292,316	232,316	研修会受講費 598名
社会局		20,000	7,000	△ 13,000	
	予防と健康づくり部	0	0	0	
	スポーツ部	15,000	0	△ 15,000	
	医療保険部	5,000	7,000	2,000	
	急性期班	3,000	7,000	4,000	研修会受講費 3名
	回復期班	2,000	0	△ 2,000	
	介護保険部	0	0	0	
	生活期班	0	0	0	
ブロック局		313,000	687,190	374,190	
	仙南支部	20,000	0	△ 20,000	
	岩沼支部	50,000	1,500	△ 48,500	研修会受講費 1名
	太白支部	0	57,938	57,938	研修会受講費 41名
	青葉支部	30,000	111,392	81,392	研修会受講費 77名
	若林支部	15,000	0	△ 15,000	
	宮城野支部	10,000	0	△ 10,000	
	泉支部	20,000	4,500	△ 15,500	研修会受講費 3名
	塩釜支部	3,000	122,680	119,680	研修会受講費 87名
	黒川支部	0	0	0	
	大崎支部	15,000	257,180	242,180	研修会受講費 509名、新人歓迎会参加費 17名
	石巻支部	20,000	37,000	17,000	研修会受講費 23名
	栗原支部	5,000	0	△ 5,000	
	登米支部	0	0	0	
	気仙沼支部	125,000	95,000	△ 30,000	研修会受講費 40名、交流会参加費 29名
委員会		45,000	5,000	△ 40,000	
常設委員会	災害支援対策委員会	0	5,000	5,000	研修会受講費 5名
	E-nudge委員会	35,000	0	△ 35,000	
	国際交流・支援等委員会	10,000	0	△ 10,000	
雑収入		23,000	278,532	255,532	
	受取利息	3,000	70,436	67,436	
	雑収入	20,000	208,096	188,096	文献使用許諾料、研究助成金返金分等
当期収入合計(A)		23,971,000	22,125,248	△ 1,845,752	
前年度繰越金		35,196,910	35,196,910	0	
収入合計(B)		59,167,910	57,322,158	△ 1,845,752	

<支出の部>

(単位:円)

大・中科目	小科目	令和7年度予算	令和7年度期末決算	差額	備考
事業費支出		27,846,357	18,401,979	9,444,378	
事務局		4,014,600	3,520,055	494,545	
	総務部	2,050,000	2,094,748	△ 44,748	
	総務費	200,000	181,986	18,014	定時総会、理事会、慶弔費
	広告後援費	150,000	141,900	8,100	げんき倶楽部杜人、高校野球パンフレット、スマートみやぎ
	資料発送印刷費	400,000	178,473	221,527	総会案内はがき
	保険料	1,300,000	1,592,389	△ 292,389	ネットライフ生命保険料、労働保険料、企業財産保険
	会員情報管理部	55,000	0	55,000	
	会員管理費	55,000	0	55,000	
	広報部	1,909,600	1,425,307	484,293	
	サーバー管理費	239,600	237,600	2,000	スマートコネク、LINE公式アカウント料
	ホームページ・SNS管理費	440,000	39,600	400,400	ホームページ更新
	ニュース印刷発送費	1,020,000	966,526	53,474	県士会ニュース2025No.1、No.2
	FAXニュース通信費	210,000	181,581	28,419	
事業局		2,180,000	1,636,459	543,541	
	公益事業管理部	1,100,000	1,359,959	△ 259,959	大衡村、柴田町委託事業講師謝金、リハ専門職協会援助金
	士会事業管理部	980,000	211,000	769,000	交流会費
	法人事業管理部	100,000	65,500	34,500	行政書士顧問契約報酬、書類作成手続き費用
財務局		4,270,000	3,660,606	609,394	
	経理財務部	4,270,000	3,660,606	609,394	
	会計費	800,000	589,029	210,971	源泉徴収税
	東北ブロック協議会支援金	1,120,000	1,061,900	58,100	700@1,517名
	役員行動・管理費	1,800,000	1,530,782	269,218	通信費、旅費交通費、渉外費
	税務委託費	550,000	478,895	71,105	会計顧問報酬、税務顧問報酬、決算報酬
学術局		3,575,000	2,478,943	1,096,057	
	学術大会部	850,000	712,567	137,433	
	学術大会費	720,000	583,567	136,433	講師謝金、交通費、ポスター代、備品代、ボランティア費、通信費
	抄録等印刷発送費	0	0	0	
	会場費	130,000	129,000	1,000	
	専門領域研究部	1,415,000	604,445	810,555	
	研究助成事業	620,000	600,000	20,000	研究助成金(3名)、ボランティア費
	専門領域交流事業	675,000	0	675,000	
	研修会費	120,000	4,445	115,555	活動報告・情報交換会
	学術誌部	1,310,000	1,161,931	148,069	
	編集作業費	30,000	0	30,000	
	原稿料	80,000	50,000	30,000	
	印刷製本費・通信運搬費	1,200,000	1,111,931	88,069	理学療法士の歩み36巻1号
教育局		4,945,000	3,115,805	1,829,195	
	生涯学習部	4,395,000	2,678,674	1,716,326	
	前期後期研修班	400,000	46,700	353,300	講師謝金、会場使用料、人件費、備品消耗品費等
	登録理学療法士班	3,295,000	1,938,153	1,356,847	講師謝金、会場使用料、人件費、備品消耗品費等
	認定専門理学療法士班	700,000	693,821	6,179	講師謝金、vimeo使用料
	教育部	550,000	437,131	112,869	
	研修会費	550,000	437,131	112,869	講師謝金、会場使用料、人件費、備品消耗品費等
社会局		718,000	624,224	93,776	
	予防と健康づくり部	130,000	67,000	63,000	仙台市介護予防月間
	スポーツ部	240,000	311,331	△ 71,331	東北障がい者選手権水泳大会、国際車いすテニス大会SENDAI OPEN、U15バスケットボールクラブカップ、Jrウィンターカップ宮城県
	医療保険部	308,000	243,493	64,507	
	急性期班	154,000	156,436	△ 2,436	講師謝金、会場使用料、人件費
	回復期班	154,000	87,057	66,943	備品消耗品費、事務用品費、交通費
	介護保険部	40,000	2,400	37,600	
	生活期班	40,000	2,400	37,600	仙台市ひとやさ推進協議会
ブロック局		3,620,757	1,811,090	1,809,667	
	仙南支部	100,000	0	100,000	
	岩沼支部	100,000	24,000	76,000	講師謝金、ボランティア費
	太白支部	68,972	40,000	28,972	講師謝金
	青葉支部	180,000	53,333	126,667	講師謝金
	若林支部	180,000	17,220	162,780	講師謝金、ボランティア費
	宮城野支部	100,000	38,816	61,184	会場使用料、交通費
	泉支部	180,000	58,334	121,666	講師謝金、交通費、ボランティア費
	塩釜支部	424,000	161,161	262,839	研修会、勉強会
	黒川支部	10,000	0	10,000	
	大崎支部	260,000	275,320	△ 15,320	勉強会、症例検討会、座談会、新人歓迎会
	石巻支部	300,000	283,650	16,350	研修会、いしのまき復興マラソン
	栗原支部	200,000	0	200,000	
	登米支部	120,000	155,162	△ 35,162	第37回カップハーフマラソン
	気仙沼支部	1,397,785	704,094	693,691	研修会、新人歓迎会、スポーツ交流大会
委員会		4,523,000	1,554,797	2,968,203	
常設委員会	選挙管理委員会	5,000	0	5,000	
	災害支援対策委員会	500,000	476,946	23,054	一般研修会事業、JRAT MIYAGI会費
	表彰委員会	10,000	0	10,000	
	3職種リハ振興委員会	43,000	2,670	40,330	交通費
	E-nudge委員会	1,360,000	263,614	1,096,386	交流会、委員会企画、会場使用料
	臨床実習指導者講習会運営委員会	700,000	284,747	415,253	臨床実習指導者講習会
	理学療法の日運営委員会	100,000	0	100,000	
	組織調査委員会	5,000	0	5,000	
	先進リハ機器活用推進委員会	50,000	0	50,000	
	政策検討委員会	1,100,000	413,600	686,400	ボランティア費、交通費、事業委託
	国際交流・支援等委員会	350,000	54,098	295,902	研修会
	仕事と家庭・私生活の両立を支える委員会	150,000	59,122	90,878	研修会

諮問委員会	MPTA新時代構想会議	100,000	0	100,000	
	組織検討委員会	10,000	0	10,000	
特設委員会	第45回東北理学療法学会学術大会準備委員会	0	0	0	
	60周年・法人20周年記念誌編集委員会	10,000	0	10,000	
	循環器病対策推進委員会	30,000	0	30,000	

<支出の部>

(単位:円)

大・中科目	小科目	令和7年度予算	令和7年度期末決算	差額	備考
管理費支出		5,961,400	3,133,676	2,827,724	
事務局		3,029,000	2,675,505	353,495	
	総務部	2,975,000	2,675,505	299,495	
	事務所費	1,575,000	1,184,134	390,866	家賃、駐車場代、水道光熱費、通信費、備品等
	総務費	1,300,000	1,491,371	△ 191,371	人件費、消耗品費、会議費、事務用品費
	予備費	100,000	0	100,000	
	会員情報管理部	14,000	0	14,000	
	会計管理費	14,000	0	14,000	
	広報部	40,000	0	40,000	
	広報班	40,000	0	40,000	
事業局		30,000	11,228	18,772	
	公益事業管理部	10,000	7,965	2,035	事務用品費、振込手数料
	士会事業管理部	10,000	3,263	6,737	事務用品費
	法人事業管理部	10,000	0	10,000	
財務局		400,000	164,326	235,674	
	経理財務部	400,000	164,326	235,674	支払手数料、事務用品費、通信運搬費、交通費
学術局		250,000	26,656	223,344	
	学術大会部	150,000	0	150,000	
	専門領域研究部	50,000	3,486	46,514	運営会議
	学術誌部	50,000	23,170	26,830	会議費
教育局		600,000	76,374	523,626	
	生涯学習部	500,000	63,858	436,142	
	前期後期研修班	50,000	660	49,340	支払手数料
	登録理学療法士班	400,000	63,198	336,802	会議費、旅費交通費
	認定専門理学療法士班	50,000	0	50,000	
	教育部	100,000	12,516	87,484	会議費、旅費交通費
社会局		240,000	47,202	192,798	
	予防と健康づくり部	183,000	42,822	140,178	会議費、備品消耗品費
	スポーツ部	22,000	0	22,000	
	医療保険部	10,000	660	9,340	
	急性期班	5,000	660	4,340	支払手数料
	回復期班	5,000	0	5,000	
	介護保険部	25,000	3,720	21,280	
	生活期班	25,000	3,720	21,280	通信費、交通費
ブロック局		670,400	98,118	572,282	
	仙南支部	50,000	0	50,000	
	岩沼支部	50,000	0	50,000	
	太白支部	13,400	0	13,400	
	青葉支部	40,000	10,000	30,000	会議費、交通費
	若林支部	40,000	1,793	38,207	会議費
	宮城野支部	40,000	0	40,000	
	泉支部	40,000	1,800	38,200	会議費、交通費
	塩釜支部	20,000	12,785	7,215	運営会議等
	黒川支部	0	0	0	
	大崎支部	30,000	9,010	20,990	運営会議、通信費、支払手数料
	石巻支部	100,000	1,740	98,260	会議費
	栗原支部	50,000	0	50,000	
	登米支部	17,000	220	16,780	支払手数料
	気仙沼支部	180,000	60,770	119,230	運営会議等
委員会		642,000	34,267	607,733	
常設委員会		0	0	0	
	選挙管理委員会	0	0	0	
	災害支援対策委員会	42,000	550	41,450	支払手数料
	表彰委員会	5,000	0	5,000	
	3職種リハ振興委員会	23,000	6,000	17,000	ボランティア費
	E-nudge委員会	180,000	0	180,000	
	臨床実習指導者講習会運営委員会	30,000	14,217	15,783	運営会議、通信費、消耗品費
	理学療法の日運営委員会	10,000	0	10,000	
	組織調査委員会	5,000	0	5,000	
	先進リハ機器活用推進委員会	10,000	0	10,000	
	政策検討委員会	50,000	0	50,000	
	国際交流・支援等委員会	62,000	0	62,000	
	仕事と家庭・私生活の両立を支える委員会	50,000	0	50,000	
諮問委員会		50,000	0	50,000	
	MPTA新時代構想会議	50,000	0	50,000	
特設委員会		100,000	8,500	91,500	
	第45回東北理学療法学会学術大会準備委員会	100,000	8,500	91,500	
	60周年・法人20周年記念誌編集委員会	10,000	0	10,000	
	循環器病対策推進委員会	5,000	5,000	0	運営会議等
雑費		100,000	0	100,000	

予備費	25,360,153	0	25,360,153	
当期支出合計(C)	59,167,910	21,535,655	37,632,255	
当期収支差額(A-C)	△ 35,196,910	589,593	△ 35,786,503	
繰越収支差額(B-C)	0	35,786,503	△ 35,786,503	

事業費支出率	82.4%	85.4%
管理費支出率	17.6%	14.6%
事業費執行率		66.1%
管理費執行率		52.6%

【特別会計】

1) 震災復興支援の部

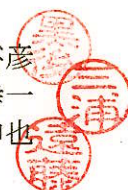
		備考
前年度繰越金	3,286,262	
収入	-	
支出	-	
残高	3,286,262	

2026年4月6日

2025年度期末監査報告書

一般社団法人宮城県理学療法士会
会長 渡邊 好孝 様

監事 黒後 裕彦
三浦 幸一
遠藤 伸也



一般社団法人宮城県理学療法士会定款 第4章第17条および46条の規定により、2025年度の会務並びに会計の期末監査を実施したので報告する。

記

監査日時 2026年4月6日(月) 19:30~21:00

場 所 宮城県理学療法士会事務所

出席者 財務局 新山正都

監 事 黒後裕彦、三浦幸一、遠藤伸也

監査方法 2025年4月1日から2026年3月31日までの、会務については、各部局、委員会における活動状況について、会計については、決算報告書および各部の事業収支について監査を行った。

監査結果

(1) 会務について

理事会、部長会については、理事会に出席し、他の会議については、資料に基づいて監査した結果、会務の執行および法人の運営は適正に行われたものと認める。

(2) 会計について

決算報告書を監査した結果、財産は適正に管理運営されているものと認める。

監査報告

(1) 会務について

各種研修会については、県内会員の参加費を無料としたことに加え、開催方法に工夫を凝らした結果、参加者数の増加が確認された。また、ブロック局における単独事業も増加し、活動が一層活発化している。これに伴い、収支が黒字となった支部も見受けられる。

(2) 会計について

事業数は増加しているものの、費用支出は適切に抑制されており、全体として堅実な財務運営が行われている。一方で、委員会においては、事業費が未執行のままとなっている項目が確認された。活動に要した費用については、速やかかつ確実に決済を行う必要がある。

さらに、今後の予算編成にあたっては、過年度の執行率を踏まえ、実態に即した現実的かつ妥当な計画を策定することが望まれる。

第 3 号議案

役員選任の件

【提案理由】

定款第 15 条、第 24 条の定めるところにより、役員を選任したい。なお、立候補者が定数を超える場合は、役員選挙規程に基づき選挙を実施する。

選任すべき役員と定数	定数	理事 13～17 人	監事 3 人
	選任	理事 13～17 人	監事 3 人

※5 月 1 日（金）締め切りの役員立候補者については、総会印刷の都合上掲載が間に合わないため、決まり次第ホームページにて告知致します。

【任期】

第 17 回定時総会（2026 年度）終了後から第 19 回定時総会（2028 年度）開始まで

MPTA は「未来への投資」を令和 2 年度より事業計画として掲げ、「情報マネジメント」・「人財育成：collaboration」・「MPTA の社会的存在意義を果たす：Purpose」・「心を繋ぐ」・「理学療法の機能的価値の追求・追究と社会的価値を提供する MPTA 事業の推進」・「パラダイムシフト：多元的な社会に合致した事業を推進する」・「Vision2050：2050 年の社会を明るくする人財を育成する」等の活動に邁進してまいりました。

また、重点事業は MPTA 成長戦略 3 本柱として令和 5 年度より継続して取り組み、「自律分散型協調組織育成」・「E-nudge 委員会の活動支援」・「政策検討委員会の事業推進」に尽力してまいりました。

本年度は役員改選が行われ、新業務執行理事にて令和 8 年度事業は推進されます。

現代は VUCA（ブーカ）の時代です。VUCA は、「Volatility（変動性）」・「Uncertainty（不確実性）」・「Complexity（複雑性）」・「Ambiguity（曖昧性）」の頭文字です。現代は、過去の経験よりも速いスピードで様々な物事が変化し進化するので、これまでの常識を超え、将来を予測するのが難しく、先行き不透明な時代です。その要因も複雑化し、解釈は難しく、曖昧性が高く、単純な因果関係で説明することは容易ではありません。過去の成功事例が短い期間で陳腐化するため、過去のデータに基づくだけでは、すぐに通用しにくくなり、リスクが高くなります。したがって、個人個人が変化に合わせて学び続けること、柔軟な対応と迅速な判断ができる戦略や組織を構築できるかどうか等がキーワードともいえるでしょう。

これまで積み上げてきた物事に固執して「こうあらねばならない」という思い込み、息苦し

さを感じていては、個人と組織の成長の妨げになります。Resilience な対応力が必要です。

改善や意思決定のフレームワークで、OODA（ウーダ）ループがあります。これは「Observe（観察）」・「Orient（状況判断）」・「Decide（意思決定）」・「Act（行動）」の頭文字です。これを高速で循環することにより、変化の激しい環境下で、スピーディに対応することが目的です。計画を立ててから行動する PDCA サイクルも大切ですが、「状況を踏まえて、取り敢えず・取り急ぎ有効だと思える手を打ってみる」という OODA（ウーダ）ループで、一歩先を見据えた行動ができるようにすることも肝要です。

《令和 8 年度事業計画案》

理学療法士の活動領域と活動分野は広がり、働く環境は変化しています。

- 令和 7 年度事業を新たに構築する。
- 医療、介護・福祉、予防、保健、教育、行政、司法、DX などの領域・分野を整理する。
- 学術活動・職能活動・社会貢献活動から組織を見直し改定する。
- 今年度は、令和 9 年度からの組織を見越した行動（試走）をする。

これまで以上に、会員の皆様の「思いを知る」こと。MPTA の「思いを伝える」こと。そして皆様と共に「思いを行動に変える」ことに注力します。

●『未来への投資 2026』：『Vision2050』

2050 年の社会を明るくする人財育成をする。

- ・現代と時代を見据えた組織の抜本見直し
- ・仕事と家庭・私生活の両立を支える委員会（通称 F-nudge）の活動支援。
- ・集合知と経験知を養うチームづくり

◎重点事項：MPTA 成長戦略の3本柱

①令和9年度に向けて組織改定をする。

- ・“古い組織を解体し、新たな組織を構築する”
新分野に挑む組織と人づくりに不可欠なのはチームワーク。(グループワークではない)

②自律分散型協調組織を強化する。

- ・“VUCA時代に強みを発揮する支部活動”をMPTAは支援し協同する。
- ・支部活動は役割に応じて、入れ替え可能な多数のミニ・リーダーを存在させ、チームメンバーは相互作用で協働する。

③行動力のあるリーダー育成をする。

(上意下達の指導力や統率力でチームメンバーを動かす人ではない)

- ・新分野で影響力・推進力を発揮できるチームリーダーを育成する”
- ・“誰もがリーダーシップを発揮し行動できる”環境をつくる。

“リーダーシップ、フォロワーシップを称賛し合う”組織風土をつくる。

①②③の実現は、前向きな意識を行動に移す力と、「One for All, All for One」の意識を共有することがチームづくりのカギとなります。

～ 継続事業 ～

- 組織率向上：新卒者・未入会者の加入促進
- 登録理学療法士100%を目指す。更新を促す。
- MPTA 主催の臨床実習指導者講習会開催と。養成校開催時の運営支援。
- 循環器病対策推進委員会：宮城県民の健寿命の延伸を目指すため、循環器を脳と心臓に分け研修会の企画・開催をする。
- 県市町村各種事業への協力
 - ・市町村、町内会、各種団体からの委託事業等を積極的に受託する。
- 先進リハ機器活用推進委員会：先進リハ機器、管理機器等の理解。DX推進のため研修会開

催。ICTによるチームケアなどの最先端情報を提供する。

- 理学療法士によるNPOや個人事業者支援
 - ・多様な分野で活動する理学療法士を支援する。先進事例を紹介する。

多種多様な人々のwell-beingと、ライフステージを支える“仕事”を創出し、実践しましょう。

◇令和8年度の主な事業(案)

：各局・部・委員会事業報告をご参照ください。

第 4 号議案

令和 8 年度活動計画案の承認を得る件

【提案理由】

定款第 24 条、第 45 条、第 46 条の定めるところにより、令和 8 年度の活動計画の承認を得たい。

令和8年度事業計画

(事務局)

●総務部

1 事業計画

- (1) 理事会会議録記録、整理、保管事業
- (2) 各種会議運営、調整事業
- (3) 各局・各部との連絡、調整事業
- (4) 各種慶弔事業
- (5) 各種文書受領事業
- (6) 各種文書発信事業
- (7) 総会資料作成事業
第17回一般社団法人宮城県理学療法士会総会資料の作成・発行
- (8) 事務器購入事業：名刺・封筒等の購入
- (9) 事務器整備事業：購入物品の管理および修理
- (10) 広告や後援等
- (11) 事務職員雇用管理

2. 運営計画

部会は年1回開催予定

●会員情報管理部

1 事業計画

- (1) 会員管理事業（会員動向・管理、包括的会員管理システムの対応）
- (2) 会員名簿作成・管理事業（会員現状の把握・管理・情報提供）

2. 運営計画

部会は必要時開催

●広報部

1 事業計画

- (1) ニュース編集・発送事業
ア 年2回
発行予定：NO.177（2026年7月）
NO.178（2027年1月）
イ 内容：年2回発行予定
原稿回収・編集作業・印刷依頼（発送含め業者委託）
- (2) FAXニュース編集・配信事業
ア 研修会等のお知らせ 随時配信（年間20-30件）
イ 原稿回収・編集作業・配信（NTT FAX配信サービス利用）
- (3) ホームページ管理事業
ア ホームページ適宜変更
- (4) SNS管理事業
ア Instagramの管理・運営

(財務局)

●経理財務部

1 事業計画

- (1) 会費に関する事業
ア 公益社団法人日本理学療法士協会より県士会費、士会援助金、講習会受講費受領
イ 会費納入に関する会員への周知
- (2) 会計に関する事業
ア 経費の仮払、立替金精算
イ 事務員の給与支払、源泉徴収票の送付
ウ 各種請求の振込、源泉所得税の納付
エ 講師料に係る支払調書の作成・送付
オ 報酬、不動産使用に係る法定調書の作成・提出
カ 収支予算案、決算報告書の作成
キ 役員の交通費、渉外費等の執行・管理
ク 各部局における事業費、運営費管理、運用の円滑化

2 運営計画

- (1) 部会 適宜開催予定
- (2) 監査 前期末と年度末に開催予定

(事業局)

●公益事業管理部

- 1 事業計画
 - (1) 3士会協働事業の管理・運営
 - (2) 協会主催や市町村支援事業等の新規事業の管理・運営
 - (3) その他記念事業等の管理・運営
- 2 運営計画
 - (1) 部会を適宜開催

●士会事業管理部

- 1 事業計画
 - (1) 会員親睦事業
 - (2) 就職支援事業(求人情報掲載に関する窓口)
 - (3) 他部局開催の事業についてのサポート及び調整
 - (4) その他士会内での新規事業等に関する支援・調整
- 2 運営計画
 - (1) 部会を適宜開催

●法人事業管理部

- 1 事業計画
 - (1) 法人運営に関する書類管理・保管
 - (2) 法人運営に関する登記等の手続き
- 2 運営計画
 - (1) 部会を適宜開催

(学術局)

●学術大会部

- 1 事業計画
 - (1) 第30回宮城県理学療法士学術大会
 - ア 日時：2027年2月7日(日)(予定)
 - イ 大会長：片岡 洋樹
 - ウ 会場：東北文化学園大学(予定)
 - (2) 第31回宮城県理学療法士学術大会
 - ア 日時：2028年2月6日(日)(予定)
 - イ 大会長：調整中
 - ウ 会場：東北文化学園大学(予定)
- 2 運営計画
 - (1) 部会を年間4回程度開催予定

●学術誌部

- 1 事業計画
 - (1) 理学療法のみ編集発行事業(第38巻1号)
 - ア 方針：第29回宮城県理学療法学術大会の講演者に対して特別寄稿論文の執筆を依頼(掲載予定)
随時研究論文を募集し、特別寄稿論文や養成校・施設紹介に関して掲載を検討
 - イ 内容：
 - (ア) 巻頭言
 - (イ) 特別寄稿：3題程度(学会関連と一般)
 - (ウ) 研究報告・症例報告：3題程度
 - (エ) 講座：1題
 - (オ) 施設紹介：1施設
 - (カ) 養成校紹介：1校
 - ウ 発刊：2027年3月予定
- 2 運営計画
 - (1) 部会を年間2回程度開催予定
 - (2) 投稿論文増加に向けた広報活動の実施

●専門領域研究部

- 1 事業計画
 - (1) 「研究助成制度」の運営
 - ア 第3回(R7年度)宮城県理学療法士会研究助成制度：
採択者への交付・研究進捗状況の確認・提出資料の管理等

イ 第4回 (R8年度)宮城県理学療法士会研究助成制度:

規定等の整備・公募・広報・審査等

(2) 研修・交流会事業の運営 (対面形式・3領域年9回程度予定)

(3) Web研修会事業 (2テーマ: 予定)

2 運営計画

(1) 部会を年間2回程度開催予定

<教育局>

●生涯学習部

◎登録理学療法士班

1. 事業計画

1) 観察による運動・動作分析-身体運動学に基づいた分析法の基礎-

日時: 未定

会場: 東北文化学園大学 (ハイブリッド開催予定)

講師: 藤澤宏幸, 村上賢一, 我妻昂樹

2) パーキンソン病に対する最新の病態理解と治療、理学療法の理論と実際 (仮)

日時: 未定

会場: Web開催

講師: 馬場徹, 及川宙

3) 心理学を活かした動作指導法一実践・運動学習論アプローチ2026

(毎月1コマ: 計4コマ)

日時: 2026年7月~10月毎月開催

会場: web開催予定 (zoom)

講師: 鈴木博人, 我妻昂樹

4) 基礎からわかる 浮腫の理学療法 ~ 浮腫の病態生理から対処法の例まで~

日時: 未定

会場: Web開催

講師: 小野部純, 釧明佳代子

5) 実技研修会 一胸部のフィジカルアセスメント・呼吸介助一

日時: 未定

会場: 東北文化学園大学 (対面開催)

講師: 高橋一揮, 合田尚弘

6) 回復期における脳卒中患者に対するリハビリテーション

~急性期から回復期, 回復期から生活期にかけて~

日時: 未定

会場: Web開催予定 (zoom)

講師: 関 崇志, 木村裕, 工藤慎也, 佐々木翔

7) 呼吸リハビリテーション研修会

日時: 2026年10月17日~18日

会場: web開催予定 (zoom)

講師: 小川浩正, 黒澤一, 齋藤浩二, 高橋識至, 中田隆文, 高橋一揮, 澤邊泰

千住秀明, 佐野裕子

8) 身体運動学から捉えるバランス制御と理学療法アプローチ

日時: 未定

会場: 東北文化学園大学 (ハイブリッド開催予定)

講師: 藤澤宏幸, 鈴木誠

9) 運動器の評価・基本的な理学療法に関する実技セミナー (仮)

日時: 未定

会場: 未定

講師: 未定

10) 基礎から学ぶ脳卒中患者の病態と動作分析

一神経学的視点と身体運動学的視点から動作を視る一

日時: 未定

会場: 東北文化学園大学 (ハイブリッド開催予定)

講師: 村上賢一, 我妻昂樹

11) 心理学を活かした動作指導法一実践・運動学習論アプローチ2026

(毎月1コマ: 計4コマ)

日時: 2026年11月~2月毎月開催

会場: web開催予定 (zoom)

講師: 鈴木博人, 我妻昂樹

12) 地域理学療法の展開

日時: 未定

会場: 仙台青葉学院大学 (ハイブリッド開催予定)

- 13) 講師：金谷さとみ、芝崎淳、中田隆文
循環器理学療法に関する研修会
日時：未定
会場：未定
講師：未定
- 14) 学会版MMTに関する研修会
日時：未定
会場：未定
講師：小林武

◎前期後期研修班

1. 事業計画

- 1) 第1回新人オリエントテーション開催事業
日時：未定（2026年4月の開催を予定）
内容：前期研修A-1 職業人と倫理
会場：東北文化学園大学+Web
- 2) 第2回新人オリエントテーション開催事業
日時：未定（冬頃の開催を予定）
内容：テーマ1新人理学療法士向け研修会（内容未定）
会場：未定
- 3) 症例検討会開催事業
日時：発表者を随時募集し、応募があり次第開催（各領域3回程度を予定）
内容：後期研修 E領域別研修（事例） E-1 神経系理学療法学
E-2 運動器障害系理学療法学
E-3 内部障害系理学療法学
- ※前期研修履修者について、自施設に登録理学療法士がいない場合のみ、
前期研修D（実地研修）D-2症例検討会の聴講、として受講できる。
会場：未定（対面またはオンライン開催）

◎認定専門理学療法士班

1. 事業計画

- 1) 認定理学療法士（運動器）臨床認定カリキュラム
ア 日時：2026年7月1日～2027年2月28日（オンデマンド配信）
イ テーマ：臨床認定カリキュラムシラバスに沿った20テーマ
ウ 講師：千葉渉、平山和哉、鈴木博人、阿部玄治、鈴木誠、栗村竜也、成田貴紀、
青木和人、黒木薫、矢口春木、吉田高幸、金子亮太郎、小宮山与一、
鈴木佑介、畠中聡
- 2) 認定理学療法士（脳卒中）臨床認定カリキュラム
ア 日時：2026年7月1日～2027年2月28日（オンデマンド配信）
イ テーマ：臨床認定カリキュラムシラバスに沿った20テーマ
ウ 講師：村上賢一、片岡洋樹、関崇志、神将文、佐々木友也、阿部千恵、安孫子洋、
芝崎淳、三田村徳、我妻昂樹
- 3) 認定理学療法士（呼吸）臨床認定カリキュラム
ア 日時：2026年7月1日～2027年2月28日（オンデマンド配信）
イ テーマ：臨床認定カリキュラムシラバスに沿った20テーマ
ウ 講師：高橋一揮、澤邊泰、藤村伸、前田里美、尾形知美、藤原裕太、廣瀬景子、
片山望、鈴木翔

●教育部

1. 事業計画

- 1) 運動生理学入門
ア 日時：7月以降、毎週開催（1コマのナイトセミナー実施予定）
イ 会場：Web開催予定（zoom）
ウ 講師：鈴木誠、小野部純、高橋一揮、弐明佳代子
- 2) 身体運動学に基づく介助技術—基礎を学べば介助がラクになる！？—（仮）
ア 日時：8月頃を予定（2コマ）
イ 会場：対面開催予定（東北文化学園大学）
ウ 講師：未定
- 3) 理学療法介入の進め方入門～臨床の考え方を広げる第一歩～（仮）
ア 日時：9月頃を予定（4コマ）
イ 会場：東北文化学園大学 / Zoom（ハイブリット開催予定）
ウ 講師：藤澤宏幸、吉田高幸、我妻昂樹、嶋田剛義
- 4) ハンドリング技術—基本的な操作法から症例を対象とした操作法まで—（仮）
ア 日時：10月頃を予定（4コマ）
イ 会場：東北文化学園大学（対面開催予定）
ウ 講師：鈴木誠、村上賢一

2. 部内構成

部長：我妻昂樹
副部長：平山和哉
部員：齋藤朱里、千田涼人、長瀬蔵人、三上愁斗

(社会局)

●予防と健康づくり部

1 事業計画

(1) 仙台市介護予防月間

ア 仙台市介護予防月間 オープニングイベント

内容：ブース出展（運動機能チェック）
測定項目…体力測定及びザリッツ→測定者へ測定結果のフィードバック
理学療法士についての広報活動
介護予防啓発の講話と運動指導（別ブースでの健康講話及び体操教室の実施）

イ 仙台市市民センターとの共催イベント（3会場を予定）

内容：地域住民に対して介護予防教室の提供
各市民センターとの打ち合わせを行い、講話の実施

(2) 耳の日記念手話祭り

内容：健康医療コーナーブースを展示会場内の一角に設け、参加者に対して日常生活上での
日常生活動作、身体に対しての情報提供や健康相談、握力測定等を行う。

(3) その他→派遣依頼があった場合、その都度対応する。

ア 元気アップフェアinおおがわらへの派遣

イ 宮城県老人クラブ連合会からの講師派遣依頼

ウ 大郷町いきいき百歳体操への講師派遣

エ 地域における健康相談事業「フラットいしかいサロン」講師派遣

3 運営計画

会議を年間5～6回予定。

会議は事業前の開催を主とし、対面・リモートでの開催を前提とする。

広報は、県土会ホームページ、県土会公式LINEアカウントを有効活用する。

●スポーツ部

1 事業計画

(1) 第35回東北パラ水泳選手権大会 サポート事業

日時：令和8年6月上旬

内容：クラス分け委員として参加選手の機能評価を行う他ためのスタッフ派遣

(2) 国際車いすテニス大会 SENDAI OPEN 2026 サポート事業

日時：令和8年6月18日～21日

内容：選手に対して、試合前後のコンディショニングおよびテーピングの実施

(3) 第2回宮城県U15バスケットボールクラブカップ サポート事業

日時：令和8年8月中旬

内容：傷害発生時の初期対応、選手のコンディショニングおよびテーピング等

(4) 2026宮城県U15バスケットボール選手権大会 サポート事業

日時：令和8年10月中旬～11月中旬頃

内容：傷害発生時の初期対応、選手のコンディショニングおよびテーピング等

(5) 研修会事業

日時：5月頃

会場：未定

内容：スポーツリハビリテーションに関する内容の研修会開催

3 運営計画

会議：0回開催（随時オンライン等で打ち合わせ）

●医療保険部

1 事業計画

(1) 研修会開催事業：リハビリテーションに関わる診療報酬研修会の開催

(2) 情報収集事業：日本理学療法士協会診療報酬担当のメーリングリストからの情報収集
日本理学療法協会等が主催する診療報酬に関わる講習会への参加

(3) 情報提供事業：情報交換会の開催会員へ診療報酬に関わる情報提供

(4) その他：診療報酬に関する各施設との情報交換会

2 運営計画：年3回部会開催予定。

●介護保険部

1 事業計画

(1) 各種会議への出席

- 仙台市ひとにやさしいまちづくり推進協議会等
- (2) 介護保険情報の収集・提供
必要に応じて県士会ホームページへの情報掲載や、疑義解釈等の確認を行う。
- (3) 介護保険関連のアンケート・研究調査の調整
日本理学療法士協会等からのアンケート・調査依頼への調整・取りまとめを行う。
- (4) 介護保険関連施設勤務者による症例報告会
- 2 運営計画：部会を年2回開催予定

(ブロック局)

●仙南支部

- 1 事業計画
 - (1) 研修会事業
 - ア 仙南支部研修会 年1回
 - イ 仙南・岩沼支部共同開催症例検討会 年1回
- 2 運営計画
運営会議 年2回

●岩沼支部

- 1 事業計画
 - (1) 研修会事業
 - ア 岩沼支部研修会 年1回
 - イ 仙南・岩沼支部共同開催症例検討会 年1回
- 2 運営計画
運営会議 年2回

●太白支部

- 1 事業計画
 - (1) 研修会事業
 - ア 「脳卒中者の歩行再建を考える研修会 第17回」を開催予定
 - イ 開催日：未定
 - ウ 内容：未定
- 2 運営計画
運営会議を2回開催予定

●青葉支部

- 1 事業計画
 - (1) 研修会事業
 - ア 青葉支部主催の研修会を開催 年2回（詳細は検討中）
 - イ 仙台地区合同研修会を開催 年1回（詳細は検討中）
 - ウ 内容：検討中
- 2 運営計画
運営会議を年3回実施予定

●若林支部

- 1 事業計画
 - (1) 研修会事業
 - ア 若林支部主催の研修会を開催 年2回
 - ①認定スクールトレーナーに関する研修会を1回
 - ②スポーツ理学療法に関する研修会を1回
 - イ 仙台地区合同研修会を開催 年1回（詳細は検討中）
 - (2) 交流会事業
若林支部主催の交流会を開催予定 年1回
- 2 運営計画
運営会議を年2回実施予定

●宮城野支部

- 1 事業計画
 - (1) 支部組織作り
 - (2) 宮城野支部主催の研修会の開催（詳細は検討中）
 - (3) 宮城野支部主催の交流会の開催（詳細は検討中）
- 2 運営計画
宮城野支部運営会議の開催（詳細は検討中）

●泉支部

1 事業計画

(1) 研修会事業

- ア 泉支部主催の研修会を開催予定 年1回 (詳細は検討中)
- イ 仙台地区合同研修会を開催予定 年1回 (詳細は検討中)
- ウ 内容：検討中

2 運営計画

運営会議を年2回実施予定

●塩釜支部

1 事業計画

(1) 第1回研修会

- ア 日時：6月
- イ 場所：未定
- ウ 内容：未定

(2) 第2回研修会の開催

- ア 日時：8月
- イ 場所：未定
- ウ 内容：未定

エ 講師：未定

(3) 第3回研修会の開催

- ア 日時：10月
- イ 場所：未定
- ウ 内容：未定

エ 講師：未定

(4) 症例検討会の開催

- ア 日時：12月
- イ 場所：坂総合クリニック1号館 8階 大会議室、zoomオンライン
- ウ 内容：後期研修 E領域別研修 (事例) E-3内部障害系理学療法学

(5) 交流会の開催

- ア 日時・場所：未定
- イ 定員：20名

2 運営計画

10回開催予定

●黒川支部

1 事業計画

(1) 研修交流会事業

(2) 研修会事業

2 運営計画

運営会議を年4回実施予定

●大崎支部

1 事業計画

(1) 研修会事業

- ア 大崎支部内・県内外の理学療法士や他職種を講師として招き、研修会を実施予定 (年 2-3 回)
- イ 大崎支部主催の懇親会を開催予定 (年1回)
- (2) 症例検討・相談会を実施 (年1回)
- (3) 座談会を実施 (年1回)

2 運営計画

会議を2回程度開催予定

●石巻支部

1 事業計画

(1) 研修会事業

- ア 県内・外の理学療法士や他職種を講師として招き、研修会を年8回実施予定
- イ 石巻支部主催の交流会を1回開催予定
- ウ 他支部と合同の研修会を開催予定

(2) 認定スクールトレーナー事業

- ア 月1回小学校へ訪問し児童生徒への運動指導

2 運営計画

会議を2回程度実施予定

●栗原支部

- 1) 研修会事業
年2回実施予定（詳細未定）
- 2) 懇親会事業
年1回実施予定（詳細未定）
2. 運営計画
運営会議を年2回実施予定

●登米支部

- 1 事業計画
 - (1) 一般研修会事業
外部講師を招いての研修会を1回開催
 - (2) 介護予防運動普及啓発事業
地域の要請に応じて介護予防講座を年10回開催
- 2 運営計画
運営会議を年2回実施

●気仙沼支部

- 1 事業計画
 - (1) 気仙沼地区勉強会
ア 研修会を8回開催
 - (ア) 地域で育てる理学療法士について（ハイブリッド）
 - (イ) 内部障害（心大血管系）に対する理学療法（ハイブリッド）
 - (ウ) 生活をどのようにとらえ臨床で活かすか（ハイブリッド）
 - (エ) 整形疾患（肩関節）に対する理学療法（実技）
 - (オ) 中枢疾患（ハンドリングを中心に）に対する理学療法（実技）
 - (カ) 中枢疾患（長下肢装具、Pusher、脳画像の見方等）に対する理学療法（ハイブリッドまたは実技）
 - (キ) 小児（呼吸）に対する理学療法（ハイブリッド）
 - (ク) がんに対する理学療法（ハイブリッド）
 - (2) 宮城県理学療法士会交流スポーツ大会
 - ア 目的：宮城県理学療法士会会員の交流
 - イ 内容：ソフトバレーボール、ポッチャ等
 - ウ 2026年10月開催予定
 - エ 塩釜での開催予定
 - オ 気仙沼支部、石巻支部、塩釜支部の3支部共催
 - (3) 気仙沼支部新入歓迎会
 - ア 内容：新入会員の歓迎および会員相互の交流
 - イ 参加人数：30名予定
- 2 運営計画
会議8回開催

(各種委員会)

○災害支援対策委員会

- 1 事業計画
 - (1) 一般研修会事業
出前講座『災害リハビリテーション基礎研修』
初学者向けの研修を1～2支部の研修会として共催する
 - (2) 人材育成事業
JIMTEF災害医療研修への委員の参加
ベーシック1名・アドバンス2名・スキルアップ1名
 - (3) 宮城JRAT研修会事業
宮城JRAT主催研修会への拠出金および運営協力
- 2 運営計画
運営会議を年6回実施

○表彰委員会

- 1 事業計画
表彰検討・表彰準備事業
- 2 運営計画
委員会適宜開催

○理学療法の日運営委員会

- 1 事業計画
 - (1) 理学療法の日に関する県民への啓発イベント等の実施
 - 2 運営計画
 - (1) 委員会を適宜開催
- 組織調査委員会
- 1 事業計画
 - (1) 県内養成校卒業生調査
組織率向上に向けた入会促進の基礎資料として、県内就職者の実数把握
 - (2) その他理事会による依頼調査
 - 2 運営計画
適宜開催
- 3職種リハ振興委員会
- 1 事業計画
 - (1) 訪問リハビリテーション地域リーダー会議
ア 日 時：2026年8月（予定）
イ 会 場：東京都内またはオンライン
 - (2) 宮城県地域リハビリテーション研修会（訪問リハビリテーション実務者研修会）
ア 日 時：未定
イ 会 場：仙台市内（対面開催、もしくはハイブリッド開催）
※宮城県作業療法士会、宮城県言語聴覚士会と共に開催。
 - 2 運営計画：委員会を年2回開催予定
- 先進リハ機器活用推進委員会
- 1 事業計画
 - (1) 研修会
しびれ同調TENSに関する研修会
ア 日時：2026年9月頃
イ 開催方法：Web
 - 2 運営計画
運営会議 年2回
- E-nudge委員会
- 1 事業計画
 - (1) 委員会の行動指針
 - ・仲間とともに、新たな一步の可能性を考える。
 - ・新しい事に挑戦し続け、理学療法の楽しみ方を探究する。
 - ・多様性の理解から未来を創造する。
 - ・人と人との繋がりから理学療法士としての生き方を共に深める。
 - (2) イベント
ア 交流会（年2回）：開催方法は検討中
・新人理学療法士の交流を促進するための企画（新人歓迎会）
・新人・若手理学療法士の交流を促進するための企画
イ ミニ勉強会（年8回）：原則、ハイブリッドで開催
若手が一步踏み出すきっかけとなるような、他研修会と重複しないミニ勉強会を企画
講師は各支部に所属するPTからテーマに該当するような人財を紹介し、県内のPTを繋ぐ
・学生対象企画
・支部・委員会との共同企画
・県士会の研修で扱われないようなニッチな領域の企画
・兼業や副業、多様な働き方に関する企画
・その他、ラフトークなど独自の企画、新規性の高い分野に関連する企画
 - 2 運営計画
会議を年間12回程度開催予定（うち2回は対面開催）
- 政策検討委員会
- 1 事業計画
 - (1) 広報活動
ア 一般社団法人宮城県理学療法士会 士会ニュースへの寄稿
イ LINE、FBを活用した情報発信
 - (2) 研修会・勉強会の開催
ア 小川克巳参議院議員 勉強会
イ 田中まさし参議院議員 勉強会
ウ 医療政策勉強会

- エ 養成校に対する主権者教育
- オ 診療報酬、理学療法に関する研修会開催
- カ 日本理学療法士連盟オンデマンドコンテンツの展開
- (3) 議員・他団体との交流
 - ア 宮城県選出国會議員および県議會議員との意見交換会の開催
 - イ リハビリテーション他団体、医療専門職、他団体との懇話会
 - ウ 理学療法士の職域拡大のための県内自治体首長との懇談会
 - エ 宮城県選挙管理委員会との連携
- (4) 組織代表の活動の応援
 - ア 認知拡大のための活動（東北理学療法学会）
 - イ 遊説の対応

2 運営計画
運営会議の開催18回予定

○臨床実習指導者講習会運営委員会

1 事業計画（2026年2月18日時点）

- (1) 講習会：5回
 - ア 日時：2026年8月22日（土）、23日（日）
開催主体：仙台リハビリテーション専門学校
開催方法：Web
募集人数：60名
 - イ 日時：2026年9月12日（土）、13日（日）または10月3日（土）、4日（日）
開催主体：東北福祉大学
開催方法：Web
募集人数：60名
 - ウ 日時：2026年11月14日（土）、15日（日）
開催主体：仙台青葉学院大学
開催方法：Web
募集人数：60名
 - エ 日時：2027年1月16日（土）、17日（日）
開催主体：仙台医健・スポーツ専門学校
開催方法：Web
募集人数：60名
 - オ 日時：2027年2月
開催主体：東北文化学園大学
開催方法：Web
募集人数：60名
- (2) 研修会&交流会：1回
 - ア 日時：2027年2月（予定）
開催主体：一般社団法人宮城県理学療法士会
開催方法：未定

2 運営計画
会議1回開催（2026年度調整会議）

○国際交流・支援等委員会

1 事業計画

- (1) 委員会の活動指針
異文化・多文化の相互理解を深め、グローバルヘルスへの貢献や国際・地域社会の安定を目指すしていくため、以下3つを大事にしながら企画を進める。
 - ア 海外PTや外国人との国際交流
 - イ 在日・在留外国人や外国人材への支援
 - ウ 多様化する社会へ柔軟に対応
- (2) イベント
研修会（年4回）：現場からのハイブリッドシステムを利用した方法で計画
 - ア オンラインで繋ぐJICA海外協力隊（仮）
 - イ 国際スポーツ・パラスポーツの支援（仮）
 - ウ PT×国際×開発コンサルテーションのキャリア（仮）
 - エ 国際交流×研究×ワークライフ・インテグレーション（仮）

2 運営計画
会議を年間4回程度開催予定

○仕事と家庭・私生活の両立を支える委員会

1 事業計画

国策である「仕事と家庭の両立支援対策」の理解・啓発を図り、会員のコミュニティ形成の

- 場としての事業を展開
 - ア 研修会・勉強会の開催
 - イ 会員のコミュニティ形成の場作り
- 2 運営計画
会議適宜開催
- MPTA新時代構想会議
 - 1 計画運営
運営会議を年2回実施予定
- 組織検討委員会
 - 1 事業計画
 - (1) 規程整備事業（継続事業）
 - (2) 組織改廃調査検討提言
 - 2 運営計画
会議適宜開催
- 第45回東北理学療法学会準備委員会
 - 1 運営計画
運営会議を年4回実施予定
- 60周年・法人20周年記念誌編集委員会
 - 1 事業計画
 - (1) 士会事業に関する情報収集とまとめ
 - (2) 沿革作成に関する情報収集とまとめ
 - 2 運営計画
 - (1) 委員会を適宜開催
- 循環器病対策推進委員会
 - 1 事業計画
 - (1) 各種会議出席
 - ア 日本循環器理学療法学会 循環器病対策基本法リハビリテーション担当者情報交換会
 - イ 宮城県循環器病対策推進協議会
 - (2) 講習会の実施
 - ア 循環器理学療法の講習会による啓蒙活動（各ブロックとの共同開催）
 - (3) 情報交換
- 選挙管理委員会
 - 1 事業計画
 - (1) 令和8年度役員選挙実施事業
 - 2 運営計画
会議適宜開催

第 5 号議案

令和 8 年度予算案の承認を得る件

【提案理由】

定款第 24 条、第 45 条の定めるところにより、令和 8 年度の予算案の承認を得たい。

令和8年度 一般社団法人 宮城県理学療法士会 予算案

令和8年4月1日～令和9年3月31日

【一般会計】					
<収入の部>					
(単位:円)					
大科目	中科目	令和7年度予算	令和8年度予算	差額	備考
会費収入	会費収入	15,955,000	15,950,000	△ 5,000	
	会費	13,950,000	13,950,000	0	
	士会援助金	2,005,000	2,000,000	△ 5,000	
事業収入		7,993,000	6,718,000	△ 1,275,000	
事業局		1,240,000	1,150,000	△ 90,000	
	公益事業管理部	1,100,000	1,000,000	△ 100,000	市町村、他団体委託事業
	士会事業管理部	140,000	150,000	10,000	交流会参加費(各支部1回開催(14回開催)500@20名参加を想定)
学術局		1,120,000	1,300,000	180,000	
	学術大会部	1,000,000	1,000,000	0	学会参加費等
	専門領域研究部	120,000	300,000	180,000	研修・交流会事業参加費等
教育局		5,255,000	3,811,000	△ 1,444,000	
	生涯学習部	5,195,000	3,511,000	△ 1,684,000	
	前期後期研修班	0	0	0	
	登録理学療法士班	4,495,000	2,791,000	△ 1,704,000	
	認定専門理学療法士班	700,000	720,000	20,000	
	教育部	60,000	300,000	240,000	
社会局		20,000	55,000	35,000	
	予防と健康づくり部	0	0	0	
	スポーツ部	15,000	40,000	25,000	研修会受講費 2,000@20名
	医療保険部	5,000	0	△ 5,000	
	急性期班	3,000	0	△ 3,000	
	回復期班	2,000	0	△ 2,000	
	介護保険部	0	15,000	15,000	
	生活期班	0	15,000	15,000	介護報酬改定に関する研修会受講費等
ブロック局		313,000	257,000	△ 56,000	
	仙南支部	20,000	10,000	△ 10,000	
	岩沼支部	50,000	10,000	△ 40,000	
	太白支部	0	0	0	県内会員の参加を見込んでいるため、0円で算定
	青葉支部	30,000	10,000	△ 20,000	青葉支部主催研修会、仙台圏支部合同研修会受講費
	若林支部	15,000	15,000	0	交流会参加費 500@30名
	宮城野支部	10,000	10,000	0	交流会参加費 500@20名
	泉支部	20,000	10,000	△ 10,000	研修会受講費等
	塩釜支部	3,000	3,000	0	研修会参加費
	黒川支部	0	0	0	
	大崎支部	15,000	100,000	85,000	研修会非会員・県外会員参加費、懇親会参加費
	石巻支部	20,000	60,000	40,000	
	栗原支部	5,000	5,000	0	
	登米支部	0	0	0	
	気仙沼支部	125,000	24,000	△ 101,000	
委員会		45,000	145,000	100,000	
常設委員会	E-nudge委員会	35,000	35,000	0	交流会参加費 500@70名
	先進リハ機器活用推進委員会		100,000	100,000	
	国際交流・支援等委員会	10,000	10,000	0	交流会費、非会員会費
雑収入		23,000	120,000	97,000	
	受取利息	3,000	70,000	67,000	
	雑収入	20,000	50,000	30,000	
当期収入合計(A)		23,971,000	22,788,000	△ 1,183,000	
前年度繰越金		35,196,910	35,786,503	589,593	
収入合計(B)		59,167,910	58,574,503	△ 593,407	

<支出の部>

(単位:円)

大・中科目	小科目	令和7年度予算	令和8年度予算	差額	備考
事業費支出		27,846,357	28,264,422	418,065	
事務局		4,014,600	4,159,600	145,000	
	総務部	2,050,000	2,200,000	150,000	
	総務費	200,000	300,000	100,000	会議費、会場使用料等
	広告後援費	150,000	100,000	△ 50,000	全国高校野球宮城大会、げんき倶楽部杜人
	資料発送印刷費	400,000	300,000	△ 100,000	総会資料印刷発送費
	保険料	1,300,000	1,500,000	200,000	メットライフ生命保険料
	会員情報管理部	55,000	50,000	△ 5,000	
	会員管理費	55,000	50,000	△ 5,000	
	広報部	1,909,600	1,909,600	0	
	サーバー管理費	239,600	239,600	0	
	ホームページ外注	440,000	440,000	0	
	ニュース印刷発送費	1,020,000	1,020,000	0	
	FAXニュース通信費	210,000	210,000	0	
事業局		2,180,000	2,110,000	△ 70,000	
	公益事業管理部	1,100,000	1,000,000	△ 100,000	
	士会事業管理部	980,000	980,000	0	交流会費(各支部1回開催(14回開催)20名参加を想定)
	法人事業管理部	100,000	130,000	30,000	
財務局		4,270,000	4,220,000	△ 50,000	
	経理財務部	4,270,000	4,220,000	△ 50,000	
	会計費	800,000	800,000	0	
	東北ブロック協議会支援金	1,120,000	1,120,000	0	
	役員行動・管理費	1,800,000	1,800,000	0	
	税務委託費	550,000	500,000	△ 50,000	
学術局		3,575,000	3,715,000	140,000	
	学術大会部	850,000	850,000	0	
	学術大会費	720,000	720,000	0	講師謝礼、交通費、外部委託費、ボランティア費等
	会場費	130,000	130,000	0	会場費
	専門領域研究部	1,415,000	1,555,000	140,000	
	研究助成事業	620,000	640,000	20,000	研究助成金、ボランティア費等
	研修・交流事業費	675,000	795,000	120,000	講師謝礼、会場費、ボランティア費、交流会支援等
	研修会費	120,000	120,000	0	講師謝礼、会場費等
	学術誌部	1,310,000	1,310,000	0	
	通信運搬費・事務用品費	30,000	30,000	0	
	原稿料	80,000	80,000	0	
	印刷製本費	1,200,000	1,200,000	0	
教育局		4,945,000	4,913,000	△ 32,000	
	生涯学習部	4,395,000	4,363,000	△ 32,000	
	前期後期研修班	400,000	400,000	0	
	登録理学療法士班	3,295,000	3,213,000	△ 82,000	
	認定専門理学療法士班	700,000	750,000	50,000	
	教育部	550,000	550,000	0	
	研修会費	550,000	550,000	0	
社会局		718,000	675,000	△ 43,000	
	予防と健康づくり部	130,000	67,000	△ 63,000	
	スポーツ部	240,000	390,000	150,000	研修会、東北障がい者選手権水泳大会、国際車いすテニス大会SENDAI OPEN
	医療保険部	308,000	43,000	△ 265,000	
	急性期班	154,000	21,500	△ 132,500	
	回復期班	154,000	21,500	△ 132,500	
	介護保険部	40,000	175,000	135,000	
	生活期班	40,000	175,000	135,000	症例報告会、介護報酬改定に関する研修会等
ブロック局		3,620,757	4,243,822	623,065	
	仙南支部	100,000	50,000	△ 50,000	
	岩沼支部	100,000	50,000	△ 50,000	
	太白支部	68,972	68,822	△ 150	
	青葉支部	180,000	180,000	0	研修会(2回)
	若林支部	180,000	150,000	△ 30,000	研修会(2回)、交流会(1回)
	宮城野支部	100,000	100,000	0	研修会、交流会開催等
	泉支部	180,000	180,000	0	研修会
	塩釜支部	424,000	400,000	△ 24,000	症例検討会、研修会
	黒川支部	10,000	150,000	140,000	
	大崎支部	260,000	395,000	135,000	研修会(3対面1回、オンライン2回)、懇親会、症例検討会、座談会
	石巻支部	300,000	800,000	500,000	
	栗原支部	200,000	200,000	0	
	登米支部	120,000	120,000	0	登米介護予防運動普及啓発事業、研修会
	気仙沼支部	1,397,785	1,400,000	2,215	研修会(8回)、新入会員歓迎会、石巻・塩釜・気仙沼支部共催交流球技大会
委員会		4,523,000	4,228,000	△ 295,000	
常設委員会	選挙管理委員会	5,000	5,000	0	
	災害支援対策委員会	500,000	450,000	△ 50,000	
	表彰委員会	10,000	5,000	△ 5,000	
	3職種リハ振興委員会	43,000	43,000	0	訪問リハ地域リーダー会議等
	E-nudge委員会	1,360,000	1,360,000	0	交流会(2回)、定期勉強会(8回)
	臨床実習指導者講習会運営委員会	700,000	610,000	△ 90,000	臨床実習指導者講習会(養成校:計4回、予備:1回)世話人研修会・交流会(1回)
	理学療法の日運営委員会	100,000	100,000	0	
	組織調査委員会	5,000	5,000	0	
	先進リハ機器活用推進委員会	50,000	50,000	0	
	政策検討委員会	1,100,000	850,000	△ 250,000	

諮問委員会	国際交流・支援等委員会	350,000	350,000	0	研修会(4回)
	仕事と家庭・私生活の両立を支える委員会	150,000	150,000	0	
	MPTA新時代構想会議	100,000	100,000	0	
	組織検討委員会	10,000	10,000	0	
特設委員会	第45回東北理学療法学会大会準備委員会	0	100,000	100,000	
	60周年・法人20周年記念誌編集委員会	10,000	10,000	0	
	循環器病対策推進委員会	30,000	30,000	0	

<支出の部>

(単位:円)

大・中科目	小科目	令和7年度予算	令和8年度予算	差額	備考
管理費支出		5,961,400	5,581,222	△ 380,178	
事務局		3,029,000	3,050,000	21,000	
	総務部	2,975,000	3,000,000	25,000	
	事務所費	1,575,000	1,500,000	△ 75,000	家賃、駐車場代、通信費、水道光熱費、備品等 人件費、消耗品代
	総務費	1,300,000	1,400,000	100,000	
	予備費	100,000	100,000	0	
	会員情報管理部	14,000	10,000	△ 4,000	
	会計管理費	14,000	10,000	△ 4,000	
	広報部	40,000	40,000	0	
	広報班	40,000	40,000	0	
事業局		30,000	30,000	0	
	公益事業管理部	10,000	10,000	0	
	士会事業管理部	10,000	10,000	0	
	法人事業管理部	10,000	10,000	0	
財務局		400,000	400,000	0	
	経理財務部	400,000	400,000	0	
学術局		250,000	250,000	0	
	学術大会部	150,000	150,000	0	会議費、交通費
	専門領域研究部	50,000	50,000	0	会議費、交通費
	学術誌部	50,000	50,000	0	会議費、交通費
教育局		600,000	349,000	△ 251,000	
	生涯学習部	500,000	249,000	△ 251,000	
	前期後期研修班	50,000	50,000	0	
	登録理学療法士班	400,000	169,000	△ 231,000	
	認定専門理学療法士班	50,000	30,000	△ 20,000	
	教育部	100,000	100,000	0	
社会局		240,000	89,822	△ 150,178	
	予防と健康づくり部	183,000	42,822	△ 140,178	
	スポーツ部	22,000	22,000	0	会議費、消耗品費
	医療保険部	10,000	10,000	0	
	急性期班	5,000	5,000	0	
	回復期班	5,000	5,000	0	
	介護保険部	25,000	15,000	△ 10,000	
	生活期班	25,000	15,000	△ 10,000	
ブロック局		670,400	670,400	0	
	仙南支部	50,000	20,000	△ 30,000	
	岩沼支部	50,000	20,000	△ 30,000	
	太白支部	13,400	13,400	0	
	青葉支部	40,000	40,000	0	
	若林支部	40,000	10,000	△ 30,000	運営会議、雑費、交通費
	宮城野支部	40,000	40,000	0	運営会議、雑費等
	泉支部	40,000	40,000	0	運営会議等
	塩釜支部	20,000	20,000	0	運営会議(10回)
	黒川支部	0	50,000	50,000	
	大崎支部	30,000	50,000	20,000	運営会議(2回)
	石巻支部	100,000	100,000	0	
	栗原支部	50,000	50,000	0	
	登米支部	17,000	17,000	0	運営会議、交通費
	気仙沼支部	180,000	200,000	20,000	運営会議(10回)
委員会		642,000	642,000	0	
常設委員会	選挙管理委員会	0	0	0	
	災害支援対策委員会	42,000	42,000	0	
	表彰委員会	5,000	5,000	0	
	3職種リハ振興委員会	23,000	23,000	0	
	E-nudge委員会	180,000	180,000	0	対面運営会議(2回)、郵送代等
	臨床実習指導者講習会運営委員会	30,000	30,000	0	運営会議(1回)
	理学療法の日運営委員会	10,000	10,000	0	
	組織調査委員会	5,000	5,000	0	
	先進リハ機器活用推進委員会	10,000	10,000	0	
	政策検討委員会	50,000	50,000	0	
	国際交流・支援等委員会	62,000	62,000	0	雑費・印刷費等
	仕事と家庭・私生活の両立を支える委員会	50,000	50,000	0	
	MPTA新時代構想会議	50,000	50,000	0	
	組織検討委員会	10,000	10,000	0	
	第45回東北理学療法学会大会準備委員会	100,000	100,000	0	
諮問委員会					
特設委員会					

	60周年・法人20周年記念誌編集委員会	10,000	10,000	0
	循環器病対策推進委員会	5,000	5,000	0
雑費		100,000	100,000	0
予備費		25,360,153	24,728,859	△ 631,294
当期支出合計(C)		59,167,910	58,574,503	△ 593,407
当期収支差額(A-C)		△ 35,196,910	△ 35,786,503	△ 589,593
繰越収支差額(B-C)		0	0	0
	事業費支出率	82.4%	83.5%	
	管理費支出率	17.6%	16.5%	

【特別会計】

1) 震災復興支援の部

残高	3,286,262
----	-----------

第 6 号議案

定款変更の承認を得る件

【提案理由】

定款第 24 条及び第 49 条の定めるところにより、定款の一部を変更したいので、その承認を求める。

定款 改定新旧対照表

(傍線・太字部分は改正部分)

改正後	改正前
第4章 役員等 第15条 (選任等)	
2 会長は、 <u>理事会</u> の決議によって理事の中から選定する。	2 会長は、 <u>別に定める</u> 決議によって理事の中から選定する。
第6章 理事会 第33条 (権限)	
(2) <u>規程</u> 、規則の制定、変更及び廃止に関する事項	(2) 規則の制定、変更及び廃止に関する事項
第9章 委員会 第52条 (委員会)	
第52条 この法人の事業を推進するために必要あるときは、 <u>理事会</u> の決議により、委員会を設置することができる。	第52条 この法人の事業を推進するために必要あるときは、 <u>社員総会</u> の決議により、委員会を設置することができる。
2 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、 <u>理事会</u> の決議により、別に定める。	2 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、 <u>社員総会</u> の決議により、別に定める。
<u>(削除)</u>	<u>3 前2項にかかわらず、理事会が委員会の設置を必要と認めるときは、理事会の決議により、委員会を設置することができる。この場合には、設置後に開催される社員総会において、承認を得ることとする。</u>
第10章 局 第53条 (局の設置等)	
3 局の組織、構成及び運営に関し必要な事項は、 <u>理事会</u> の決議により、別に定める。	3 局の組織、構成及び運営に関し必要な事項は、 <u>社員総会</u> の決議により、別に定める。
第12章 (章タイトル変更)	
第12章 <u>雑則</u>	第12章 <u>附則</u>
第12章 第56条 (委任)	
第56条 この定款の施行について必要な事項は、 <u>法令又はこの定款で別に定めたものを除いて、理事会 (社員総会に関するものは社員総会)</u> の決議を経て別に定める。	第56条 この定款の施行について必要な事項は、この定款で別に定めたものを除いて、 <u>社員総会</u> の決議を経て別に定める。
<u>(削除)</u>	第57条 本定款に定めのない事項は、すべて一般法人法その他の法令に従う。

定款施行細則 改定新旧対照表

(傍線・太字部分は改正部分)

改正後	改正前
第1章 総則	
第1章 <u>総則</u>	第1章 <u>総則</u>
第1章 総則 第1条 (目的)	
第1条 この施行細則は、一般社団法人宮城県理学療法士会 <u>定款</u> に基づき、本会の運営を円滑に行うことを目的として定める。	第1条 この施行細則は、一般社団法人宮城県理学療法士会(以下「 <u>本会</u> 」という。)定款に基づき、本会の運営を円滑に行うことを目的として定める。
第2章 会員 第2条 (会員資格)	
第2章 <u>会員</u>	第2章 <u>会員</u>
第2条 定款第5条に規定する正会員及び名誉会員は、 <u>公益社団法人</u> 日本理学療法士協会（以下「協会」という）に所属するものとする。	第2条 定款第5条に規定する正会員及び名誉会員は、 <u>公益法人</u> 日本理学療法士協会(以下「協会」という)に所属するものとする。
第2章 会員 第3条 (手続き)	
第3条 入会、休会、退会、復会及び異動の手続きは、 <u>協会のホームページより行う。</u> 2 勤務地、居住地、氏名等に変更があったときは、 <u>協会のホームページより、速やかに変更手続きをする。</u>	第3条 入会、休会、退会、復会及び異動の手続きは、 <u>所定の手続きをもって行う。</u> 2 勤務地、居住地、氏名等に変更があったときは、 <u>本会所定の用紙をもって、速やかに所定の手続きをもって行う。</u>
第2章 会員 第4条 (休会)	
第4条 会員は特別な事情があるときは、 <u>前条に規定した手続きにより</u> 、理事会の承認を受けて、 <u>1事業年度単位</u> で休会することができる。 <u>なお、休会中の会費は徴収せず、休会中は本会からの連絡は行わない。</u> <u>2 休会期間は休会申請をした日から当該事業年度の3月31日までとする。</u>	第4条 会員は特別な事情があるときは、 <u>所定の手続きにより</u> 、理事会の承認を受けて、 <u>期間を定めて</u> 休会することができる。 <u>なお、休会中の処遇は協会の定めるところによる。</u>
第2章 会員 第5条 (名誉会員)	
(1) 多年にわたり本会に在籍し、理学療法の進歩と発展に顕著な功績が認められた、概ね65歳以上の会員の中で、理事会の推薦を受け社員総会の承認を得た者とする。 <u>(但し、以下を削除)</u> (2) 名誉会員の <u>任期</u> は、本人の申し出及び著しく本会の名誉を損わない限り <u>生涯会員</u> とする。	(1) 多年にわたり本会に在籍し、理学療法の進歩と発展に顕著な功績が認められた、概ね65歳以上の会員の中で、理事会の推薦を受け社員総会の承認を得た者とする。 <u>但し、任意団体宮城県理学療法士会での在籍期間も含めるものとする。</u> (2) 名誉会員の <u>資格</u> は、本人の申し出及び著しく本会の名誉を損わない限り <u>生涯</u> とする。
第2章 会員 第6条 (慶弔)	
第6条 本会の正会員、役員、関係者、関係団体等の慶	第6条 正会員の死亡に関しては弔電と弔慰金を供え

<p>弔については、別に定める「慶弔金規程」による。</p>	<p>る。弔慰金は、当該年度の会費相当額とする。</p> <p>2 賛助会員並びに名誉会員、及び会員外や関連団体等に対する会務施行上必要と認められた祝意・弔意については、理事会の承認をもって行うことができる。但し会長副会長による決議のみでも慶弔行為を行えるものとし、行為後は理事会へ報告する。</p> <p>3 弔意行動は下記より、必要に応じ行うものとする。(弔電・供花・籠盛・葬儀等への参列・その他)</p>
<p>第3章 会費</p>	
<p>第3章 <u>会費</u></p>	<p>第3章 <u>会費</u></p>
<p>第3章 会費 第7条 (会費)</p>	
<p>第7条 本会の会費は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 正会員 年額 <u>19,000 円</u> <u>内訳：①本会会費 9,000 円</u> <u>②協会会費 10,000 円</u></p> <p>(2) 賛助会員 年額 <u>20,000 円 (一口)</u></p> <p>(3) 名誉会員 徴収しない</p>	<p>第7条 本会の会費は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 正会員 年額 <u>9,000 円</u></p> <p>(2) 賛助会員 年額 <u>20,000 円</u></p> <p>(3) 名誉会員 徴収しない</p>
<p>第3章 会費 第8条 (入会金及び年会費)</p>	
<p>第8条 <u>新規に入会する正会員においては、以下のとおりとする。</u></p> <p>(1) <u>免許取得年度</u></p> <p><u>①本会入会金 なし</u></p> <p><u>②協会入会金 5,000 円 年会費 5,000 円</u></p> <p>(2) <u>免許取得後1年以上経過してからの入会</u></p> <p><u>①本会入会金 なし</u></p> <p><u>②協会入会金 5,000 円 年会費 10,000 円</u></p> <p>2 <u>協会の会員で、他都道府県の理学療法士が移動等により本会に入会する場合、入会金を免除する。</u></p>	<p>第8条 <u>本会は入会金を徴収しない。</u></p>
<p>第3章 会費 第9条 (納入)</p>	
<p>第9条 本会の年会費は、当年度入会者を除き、<u>毎年3月31日までに指定</u>の方法で納入しなければならない。</p>	<p>第9条 本会の年会費は、当年度入会者を除き、<u>前年度の3月末日までに所定</u>の方法で納入しなければならない。</p>
<p>第4章 組織</p>	
<p>第4章 <u>組織</u></p>	<p>第4章 <u>組織</u></p>
<p>第4章 組織 第10条 (構成等) 【大幅改正】</p>	
<p><u>(削除)</u></p>	<p><u>(減免・割引)</u></p> <p>第10条 <u>協会の定める会費免除事項に該当する会員は、協会の定めた期間に限り本会の会費を免除する。</u></p> <p>2 <u>協会の定める年会費割引制度に該当する会員</u></p>

	<p><u>は、協会の定めた期間に限り本会の会費を協会と同額とする。</u></p>
<p>第 10 条 <u>本会の運営のため、局、部、及び委員会を置く。</u></p> <p>2 <u>局及び部は、次の7局16部14支部とする。</u></p> <p>(1) <u>事務局：総務部、会員情報管理部、広報部</u></p> <p>(2) <u>財務局：経理財務部</u></p> <p>(3) <u>事業局：公益事業管理部、士会事業管理部、法人事業管理部</u></p> <p>(4) <u>学術局：学術大会部、専門領域研究部、学術誌部</u></p> <p>(5) <u>教育局：生涯学習部、教育部</u></p> <p>(6) <u>社会局：予防と健康づくり部、スポーツ部、医療保険部、介護保険部</u></p> <p>(7) <u>ブロック局：仙南～気仙沼各支部（14支部）</u></p> <p>3 各部にはその業務を円滑に進めるために班を置くことがある。</p> <p>4 各部局及び班の業務分掌については、別に定める「<u>分掌規程</u>」による。</p> <p>5 正会員は、本会の目的を理解し、事業を達成するために各部に所属し、本会活動に参加するものとする。</p> <p>6 各局には、局長及び<u>（局担当理事を削除）</u>次長を置き、各部を統括する。</p> <p>7 局長は、理事の中から会長が指名する。</p> <p><u>（8は削除）</u></p> <p>8 <u>次長は、部長の中から会長が指名する。</u></p> <p>9 <u>各部には、部長及び副部長を置き、各部を管理運営する。</u></p> <p>10 <u>各支部には、支部長及び副支部長を置き、各支部を管理運営する。</u></p> <p><u>（12は削除）</u></p> <p>11 <u>会員は次に定める区分に基づき、所属する施設の所在地により該当する支部の会員となる。また所属する施設を有しない会員については、自宅の所在地により該当する支部の会員となる。</u></p> <p>12 <u>各部の部長・副部長、各支部の支部長・副支部長は部員又は支部員の互選とし、理事会の承認を得るものとする。</u></p> <p>13 <u>会長が必要と認めるときは、理事会の承認を経て、諮問委員会の設置又は解散をすることができる。</u></p>	<p>第 11 条 <u>定款第 52 条に規定する委員会及び第 53 条に規定する局は次の通り定める。</u></p> <p>2 <u>各局には、その業務を円滑に進めるために、1つ以上の部を置く。なお、ブロックについては、各支部を組織上それぞれ一部とみなす。</u></p> <p>3 各部にはその業務を円滑に進めるために班を置くことがある。</p> <p>4 各部局及び班の業務分掌については、別に<u>分掌規定を定める。</u></p> <p>5 正会員は、本会の目的を理解し、事業を達成するために各部に所属し、本会活動に参加するものとする。</p> <p>6 各局には、局長・<u>局担当理事及び</u>次長を置き、各部を統括する。</p> <p>7 局長は、理事の中から会長が指名する。</p> <p>8 <u>局担当理事は、理事の中から会長が指名する。</u></p> <p>9 <u>次長は、部長の中から会長が指名する。</u></p> <p>10 <u>各部には、部長及び副部長を置き、各部を管理運営する。</u></p> <p>11 <u>各ブロックには、支部会長及び副支部会長を置き、各ブロックを管理運営する。</u></p> <p>12 <u>各ブロックにはブロック支援理事を置き、理事の中から会長が指名する。</u></p> <p>13 <u>会員は次に定める区分に基づき、主たる所属する施設の所在地により該当する地区に属する。また所属する施設を有しない会員については、自宅の所在地により該当する地区に属する。</u></p> <p>14 <u>各部の部長・副部長、各支部の支部会長・副支部会長は部員の互選とし、理事会の承認を得るものとする。</u></p> <p>15 <u>会長が必要と認めるときは、理事会の承認を経て、諮問委員会の設置又は解散をすることができる。</u></p>
<p>第 5 章 総務及び会計</p>	

第5章 <u>総務及び会計</u>	第5章 <u>会 計</u>
第5章 <u>総務及び会計</u> 第11条（帳簿）	
第11条（帳簿） <u>総務部は、議事録・会議録、会員名簿、事業計画及び会務の記録、刊行物等の書類・帳簿を常に備え置かねばならない。</u> 2 <u>経理財務部は、現金出納簿、総勘定元帳、出入金伝票、貸借対照表、財産目録、収支決算表等の書類・帳簿を常に備え置かねばならない。</u>	第12条 <u>本会の会計処理に関する事項については、別途これを定める。</u>
第12条（会計処理） <u>本会の会計処理に関する事項については、別に定める「会計処理規程」による。</u>	
第6章 <u>経費</u>	
第6章 <u>経費</u>	第5章 <u>経 費</u>
第6章 <u>経費</u> 第13条（経費支給）	
第13条 <u>本会の運営に際し要した経費の支給については、別に定める「経費支給規程」による。</u> 2 <u>旅費及び宿泊費については、別に定める「旅費等の支給に関する規則」による。</u>	第13条 <u>本会の運営に際し要した経費の支給については、別途これを定める。</u>
第7章 <u>公益社団法人日本理学療法士協会及び東北ブロック協議会（章統合・改正）</u>	
第7章 <u>公益社団法人日本理学療法士協会及び東北ブロック協議会</u> 第14条 <u>公益社団法人日本理学療法士協会及び東北ブロック協議会に関する事項については、別に定める「公益社団法人日本理学療法士協会及び東北ブロック協議会に関する規程」による。</u>	第7章 <u>日本理学療法士協会</u> 第8章 <u>東北ブロック協議会（別章）</u> 第14条（協会代議員） <u>協会の代議員は、協会で定めた選出方法に則り選出する。理事会は円滑に代議員が選出されるよう配慮する。</u> 第15条（東北ブロック協議会） <u>本会は公益社団法人日本理学療法士協会東北ブロック協議会の求めに応じ、代議員他各委員を会員から選出するものとする。</u>
第9章 <u>宮城県リハビリテーション専門職協会（削除）</u>	
<u>（削除）</u>	第9章 <u>宮城県リハビリテーション専門職協会</u> 第16条 <u>本会は宮城県リハビリテーション専門職協会の求めに応じ、運営に関わる委員を会員から選出するものとする。</u>
第8章 <u>選挙</u> 第15条（役員選挙規程）	（旧）第10章 <u>選 挙</u>
第15条 <u>役員選挙は、別に定める「役員選挙規程」による。</u>	第17条（役員選挙） <u>定款第14条の規定による役員選挙は以下の通りとする。</u> <u>（選挙管理委員会の設置、立候補、投票方法等を本条内で詳細規定）</u>
第9章 <u>表彰</u> 第16条（表彰規程）	（旧）第11章 <u>表 彰</u>
第16条 <u>表彰については、別に定める「表彰規程」による。</u>	第18～22条（ <u>会員表彰・方法・表彰基準・選考方法・表彰規程</u> ）を本条内で詳細規定

第10章 懲戒 第17条 (懲戒規程)		(旧) 第12章 懲罰	
第17条 懲戒については、別に定める「懲戒規程」による。		第23条 (懲罰規程) 懲罰規程については、別途これを定める。	
第11章 学術大会 第18条 (学術大会規程)		(旧) 第13章 学会	
第18条 学術大会については、別に定める「学術大会規程」による。		第24条 本会に宮城県理学療法士学術大会を置く。 2 学術大会は、理学療法に関する学術・技術の研究並びにこれに関する事業を行う。 3 学術大会に関する規程は、別途これを定める。	
第12章 雑則 第19条 (改廃) 【新設】			
第12章 雑則 第19条 この定款施行細則の改廃は、理事会の決議による。ただし、第7条及び第8条については社員総会の決議を要する。		(なし)	
(削除)		(旧) 第14章 災害対策	
(削除)		第25条 本会に災害発生時に限り災害対策本部を置く。 2 災害対策本部の設置及び運用規程は、別途これを定める。	
附則			
(削除) 1 この定款施行細則は、平成22年5月9日より施行する。 2 この定款施行細則は、令和3年7月22日より改正施行する。 3 この定款施行細則は、令和 年 月 日より改正施行する。		1 この定款施行細則の改廃は、理事会の議を経て、社員総会の承認を得なければならない。 2 この定款施行細則は、平成22年5月9日より施行する。 3 この定款細則は、協会規程との整合性調整、組織改定に関する内容、及び定款施行細則の改廃を理事会の決議をもって行うよう変更し、令和3年7月22日より施行する。	